
本庄市
子ども・子育て支援に関するニーズ調査
結果報告書
(未就学児)

令和6年5月
本庄市

目次

第1部 調査の概要	1
調査の概要	3
1. 調査の目的	3
2. 調査対象及び調査方法	3
3. 配布数及び回収結果	3
本調査の基本的な事項	3
1. 数値の基本的な取り扱いについて	3
第2部 未就学児の保護者対象調査 結果	5
子ども・子育て支援に関するニーズ調査【未就学児の保護者】	7
1. 居住地区について	7
(1) 居住地区	7
2. 本人と家庭の状況について	8
(1) 子どもの年齢	8
(2) 回答者	8
(3) 配偶関係	9
(4) 子育てについての相談先の有無	9
(5) 子育てに関する相談先	10
3. 保護者の就労状況等について	11
(1) 母親の就労状況	11
(2) 母親：現在の1週当たり就労日数および1日当たり就労時間	12
(3) 母親：フルタイムへの転換希望	13
(4) 母親：就労希望について	14
(5) 母親：就労希望の形態	14
(6) 母親：希望する1週当たり就労日数および1日当たり就労時間	15
(7) 父親の就労状況	16
(8) 父親：現在の1週当たり就労日数および1日当たり就労時間	17
(9) 父親：フルタイムへの転換希望	18
(10) 父親：就労希望について	19
(11) 父親：就労希望の形態	19
(12) 父親：希望する1週当たり就労日数および1日当たり就労時間	19
4. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	20
(1) 定期的な教育・保育の事業の利用状況	20
(2) 平日定期的に利用している教育・保育の事業	21
(3) 平日の定期的な教育・保育の事業の利用状況	22
(4) 希望の利用日数／週	24
(5) 定期的に利用したい教育・保育の事業	26

5. 土曜日・休日の定期的な教育・保育事業の利用希望について	27
(1) 土曜日の定期的な教育・保育の利用意向	27
(2) 日曜日の定期的な教育・保育の利用希望	27
6. こども誰でも通園制度について	28
(1) 定期預かり事業の利用意向	28
(2) 長期休暇期間中の教育・保育事業の利用希望	28
(3) 利用開始希望年齢・歳＋月齢（ヶ月）	31
(4) 定期預かり事業の利用希望の理由	32
7. 地域子育て支援拠点事業の認知状況や利用状況について	32
(1) 子育て支援センター等の今後の利用意向	32
(2) 子育て支援センター等の今後の利用希望回数／月	33
(3) 事業やサービス等の認知状況・利用経験・利用意向	34
(4) 事業やサービス等の認知状況・利用経験・利用意向	36
(5) 事業やサービス等の認知状況・利用経験・利用意向	38
8. 子どもの病気の際の対応について	40
(1) 子どもの病気やケガで利用できなかったこと	40
(2) この1年間の対処方法	40
(3) この1年間の対処方法の日数	41
(4) 病児・病後児保育の利用意向	42
(5) 病児・病後児保育施設等を利用したかった日数／年	42
9. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について	43
(1) 不定期の教育・保育の利用状況	43
(2) 不定期に利用している日数	43
(3) 不定期の教育・保育の利用意向	44
(4) 希望する利用目的	44
(5) 1年間で利用したい日数	45
(6) 泊りがけで預けることができる事業の利用意向	45
(7) 希望する利用目的	46
(8) 1年間で利用したい日数	46
10. 小学校就学後の放課後の過ごし方について	47
(1) 希望する小学校低学年の放課後の過ごし方	47
(2) 希望する小学校低学年の放課後の過ごし方の日数	47
(3) 希望する小学校高学年の放課後の過ごし方	48
(4) 希望する小学校高学年の放課後の過ごし方の日数	48
(5) 放課後児童クラブの利用を希望する理由	49
(6) 放課後児童クラブ ① 土曜日 (1) 利用意向	49
(7) 放課後児童クラブ ① 土曜日の希望開始時刻および希望終了時刻	50
(8) 放課後児童クラブ ② 日曜日・祝日 (1) 利用意向	51
(9) 放課後児童クラブ ② 日曜日・祝日の希望開始時刻および希望終了時刻	51
(10) 放課後児童クラブ 長期休暇期間中 (1) 利用意向	52
(11) 放課後児童クラブ ③ 長期休暇期間中の希望開始時刻および希望終了時刻	53
(12) 放課後児童クラブ設置場所として望ましいところ	54

11. 公園の過ごし方について	54
(1) 公園の利用状況	54
(2) 公園における好きな遊びの種類	55
(3) 本庄市内の公園に対する満足度	55
(4) 不満の理由	56
12. 子ども・子育て支援全般について	57
(1) 市が重点的に取り組むべき子育て支援施策	57
(2) 地域における子育て環境や支援への満足度	58
(3) 自由意見	59

第 1 部 調査の概要

調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、「本庄市 第3期子ども・子育て支援事業計画」（計画期間：令和7年度から令和11年度まで）を策定するにあたり、本庄市の子どものふだんの生活の様子などを調べるため、また、本庄市子ども・子育て支援事業計画策定の基礎資料とするために実施した。

2. 調査対象及び調査方法

項目	子ども・子育て支援に関するニーズ調査（未就学児）
調査対象	市内在住の未就学児の保護者
配布数	1,500
抽出方法	無作為抽出
調査方法	郵送法・Web
調査時期	令和6年2月～令和6年3月
調査地域	本庄市全域

3. 配布数及び回収結果

項目	子ども・子育て支援に関するニーズ調査（未就学児）
配布数	1,500
有効回収数	855
有効回収率	57.00%

本調査の基本的な事項

1. 数値の基本的な取り扱いについて

- 比率はすべて百分率（％）で表し、小数点以下2位を四捨五入して算出している。従って、合計が100％を上下する場合もある。
- 基数となるべき実数は“n＝〇〇〇”として掲載し、各比率はnを100％として算出している。
- 質問の終わりに【複数回答】とある問は、1人の回答者が2つ以上の回答を出しても良い問である。従って、各回答の合計比率は100％を超える場合がある。

第 2 部 未就学児の保護者対象調査 結果

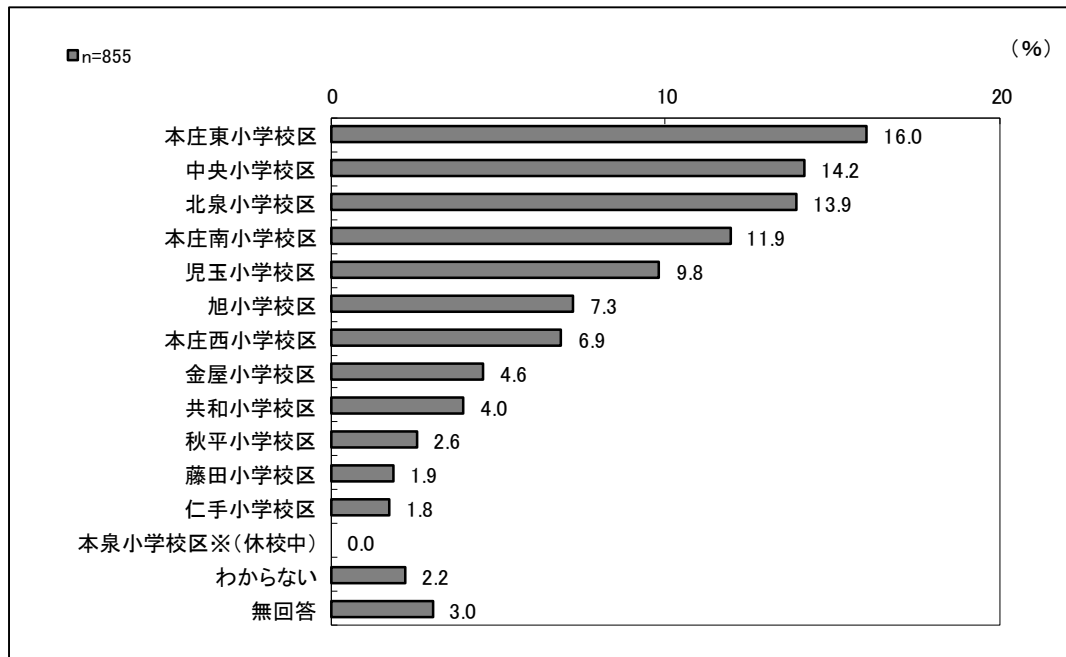
子ども・子育て支援に関するニーズ調査【未就学児の保護者】

1. 居住地区について

(1) 居住地区

問1 お住まいの地区はどちらですか。

■居住地区■



■居住地区（統合）■

	本庄東中学校区	本庄西中学校区	本庄南中学校区	児玉中学校区	わからない	無回答	n
(%)					2.2	3.0	
全体	19.6	14.2	40.0		20.9		855

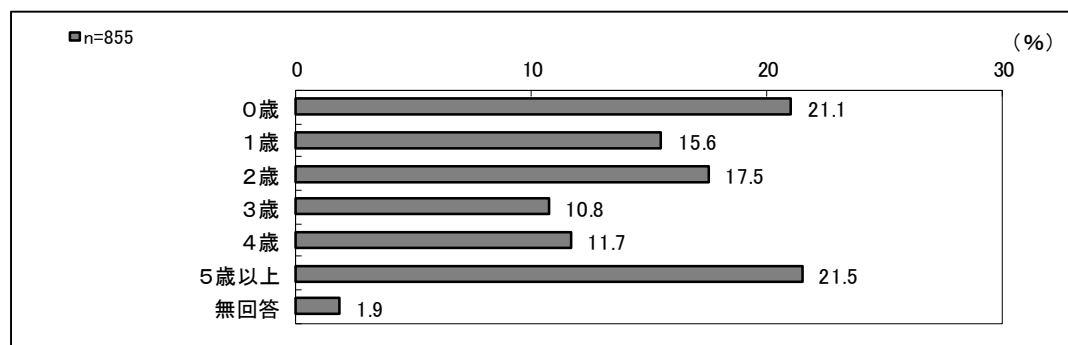
2. 本人と家庭の状況について

(1) 子どもの年齢

問2 宛名のお子さんの年齢はおいくつですか。(令和5年4月1日時点)

「5歳以上」(21.5%)、「0歳」(21.1%)、「2歳」(17.5%)、「1歳」(15.6%)、「4歳」(11.7%)、「3歳」(10.8%)。

■子どもの年齢■

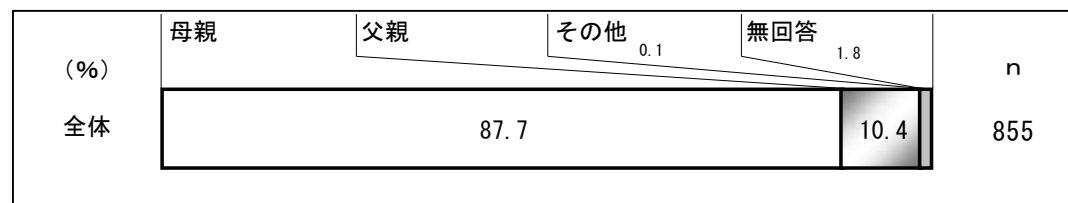


(2) 回答者

問3 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。

「母親」(87.7%)、「父親」(10.4%)、「その他」(0.1%)。

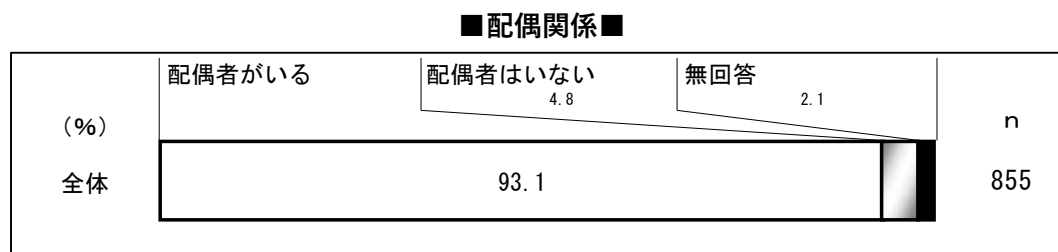
■回答者■



(3) 配偶関係

問4 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。

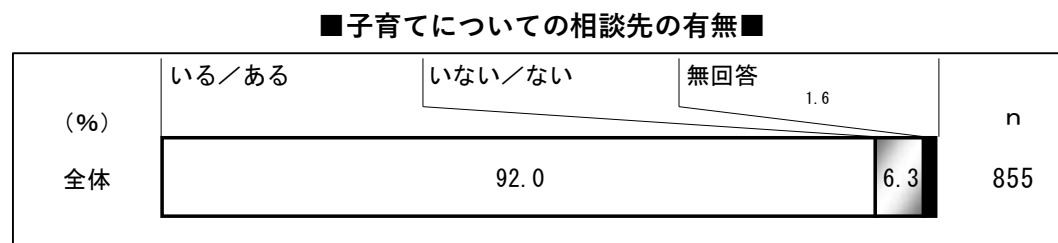
「配偶者がいる」(93.1%)、「配偶者はいない」(4.8%)。



(4) 子育てについての相談先の有無

問5 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。
また、相談できる場所がありますか。

「いる／ある」(92.0%)、「いない／ない」(6.3%)。



(5) 子育てに関する相談先

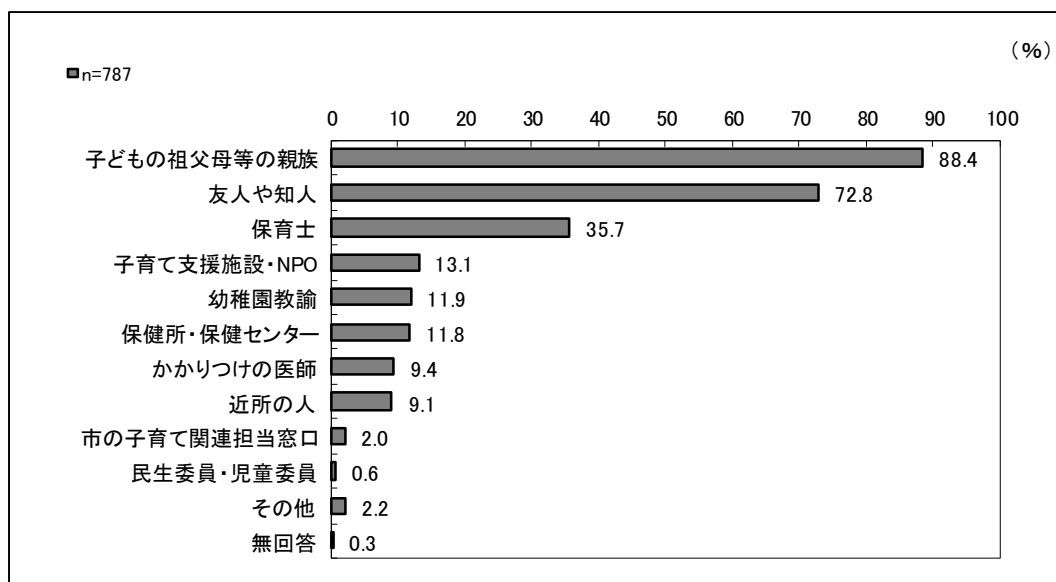
※ 問5で「1. いる／ある」に○をつけた方のみ

問 5-1 お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。【複数回答】



「子どもの祖父母等の親族」（88.4%）、「友人や知人」（72.8%）が高い割合を占める。
「保育士」（35.7%）、「子育て支援施設・NPO」（13.1%）、「幼稚園教諭」（11.9%）、「保健所・保健センター」（11.8%）等がこれに続く。
身近な人を相談先とする傾向が強い。

■子育てに関する相談先■



3. 保護者の就労状況等について

(1) 母親の就労状況

※ 主に母親の状況について

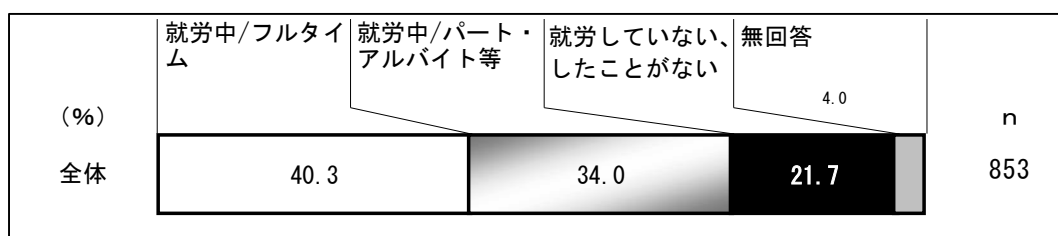
問6 宛名のお子さんの「母親」の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）についてお答えください。



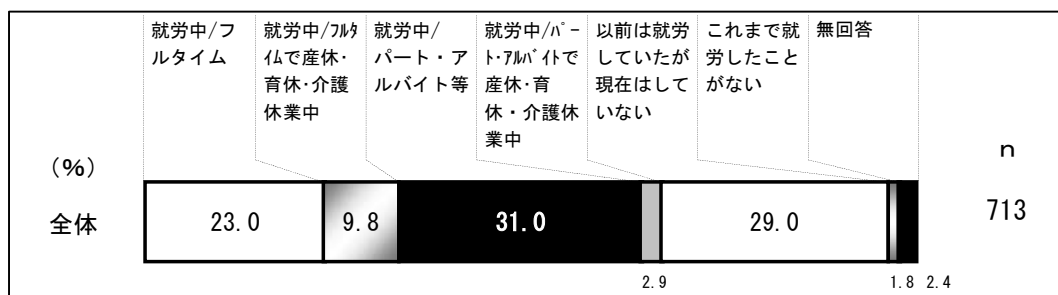
「就労中／フルタイム」(40.3%)、「就労中／パート・アルバイト等」(34.0%)、「就労していない、したことがない」(21.7%)。

前回調査と比較して、「就労中／フルタイム」の割合が 7.5 ポイント増加した一方、「就労していない、したことがない」が 9.1 ポイント減少しており、働く母親が増加している。

■母親の就労状況■



■（参考）前回調査の結果■



(2) 母親：現在の1週当たり就労日数および1日当たり就労時間

※ 問6で「1」または「2」に○をつけた方のみ

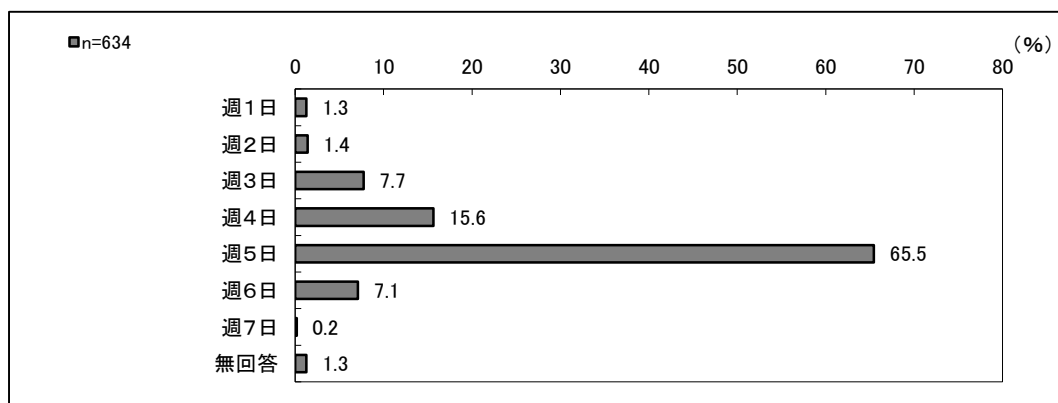
問6-1 現在の、1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。

- ① 母親：1週当たり就労日数
- ② 母親：1日当たり就労時間

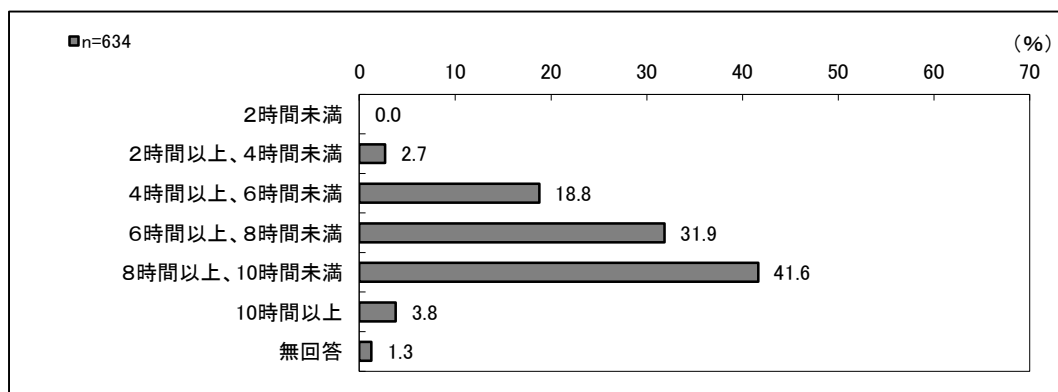


1週当たり就労日数については、「週5日」（65.5％）が過半数を占める。
1日当たり就労時間については、「8時間以上、10時間未満」（41.6％）が最も高く、「6時間以上、8時間未満」（31.9％）、「4時間以上、6時間未満」（18.8％）等がこれに続く。

■母親：1週当たり就労日数■



■母親：1日当たり就労時間■



(3) 母親：フルタイムへの転換希望

※ 問6で「2」に○をつけた方のみ

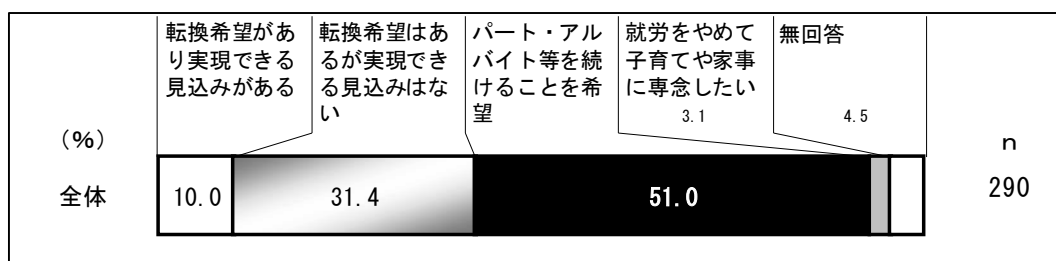
問6-2 フルタイム（1週5日程度、1日8時間程度の就労）への転換希望はありますか。



回答者のおよそ半数が「パート・アルバイト等続けることを希望」（51.0%）と回答している。

「転換希望はあるが実現できる見込みはない」（31.4%）、「転換希望があり実現できる見込みがある」（10.0%）、「就労をやめて子育てや家事に専念したい」（3.1%）。

■母親：フルタイムへの転換希望■



(4) 母親：就労希望について

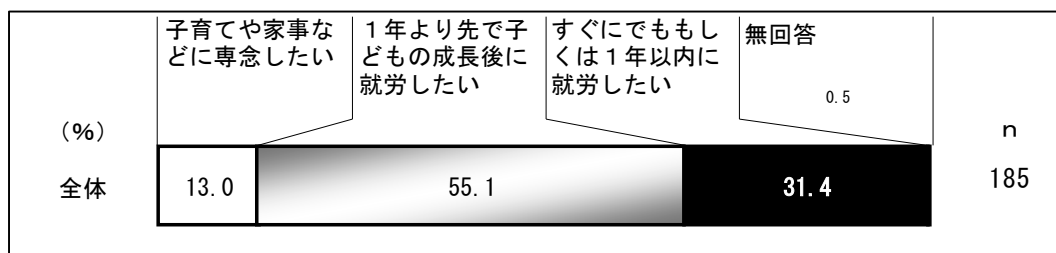
※ 問6で「3」に○をつけた方のみ

問6-3 就労したいという希望はありますか。



「1年より先で子どもの成長後に就労したい」(55.1%)、「すぐにでももしくは1年以内に就労したい」(31.4%)、「子育てや家事などに専念したい」(13.0%)。

■母親：就労希望について■



(5) 母親：就労希望の形態

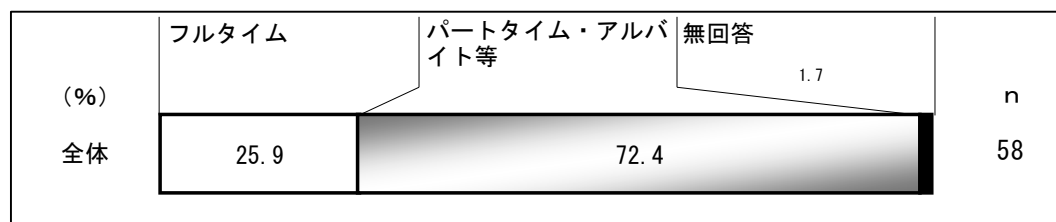
※ 問6で「3」に○をつけた方のみ

問6-3-1 希望の就労形態



「パートタイム・アルバイト等」(72.4%)、「フルタイム」(25.9%)。

■母親：就労希望の形態■



(6) 母親：希望する1週当たり就労日数および1日当たり就労時間

※ 問 6-3-1 で「イ」に○をつけた方のみ

問 6-3-2 母親：希望する1週当たり就労日数

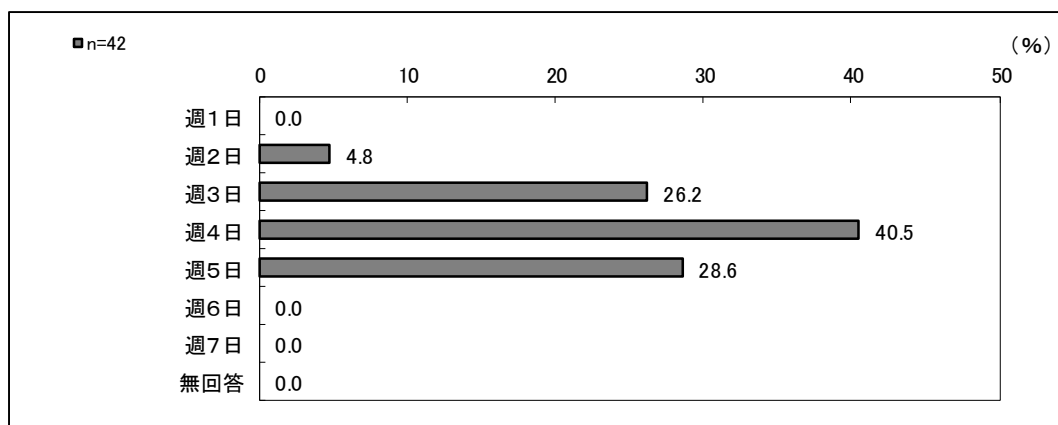
問 6-3-3 母親：希望する1日当たり就労時間



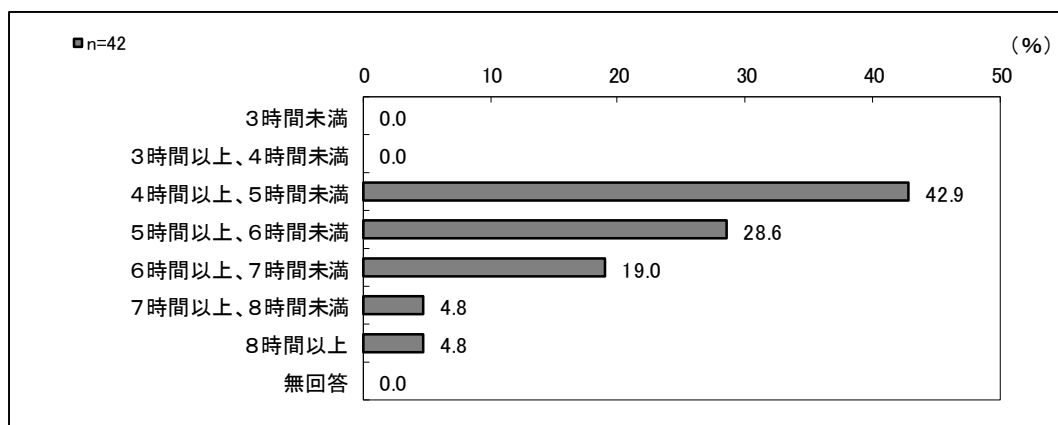
希望する1週当たり就労日数については、「週4日」(40.5%)、「週5日」(28.6%)、「週3日」(26.2%)が回答の大半を占める。

希望する1日当たり就労時間については、「4時間以上、5時間未満」(42.9%)、「5時間以上、6時間未満」(28.6%)、「6時間以上、7時間未満」(19.0%)が高い割合を占める。

■母親：希望する1週当たり就労日数■



■母親：希望する1日当たり就労時間■



(7) 父親の就労状況

※ 主に父親の状況について

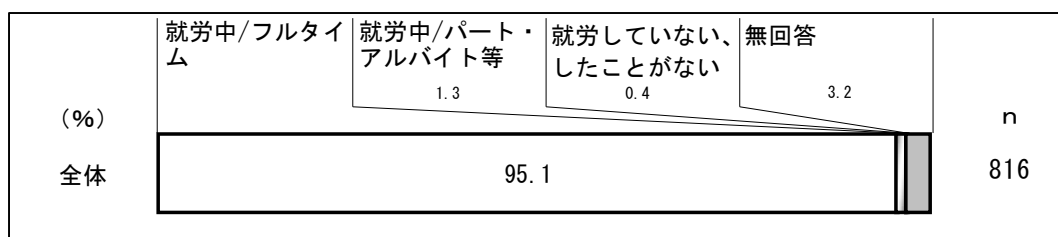
問7 宛名のお子さんの「父親」の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）についてお答えください。



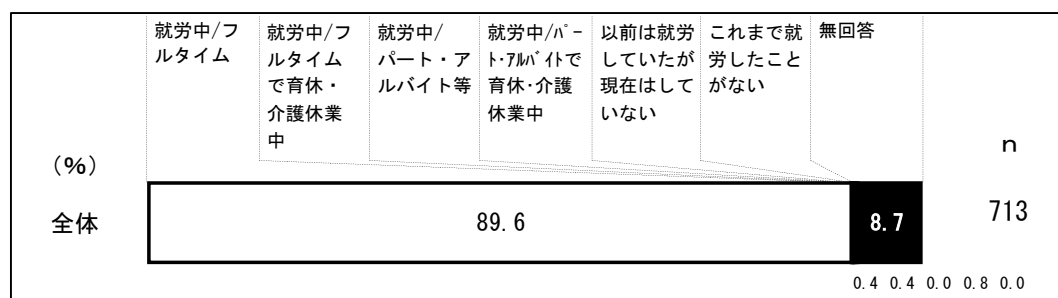
「就労中／フルタイム」（95.1%）、「就労中／パート・アルバイト等」（1.3%）、「就労していない、したことがない」（0.4%）。

前回調査と比較して「就労中／フルタイム」が5.1ポイント増加している。

■父親の就労状況■



■（参考）前回調査の結果■



(8) 父親：現在の1週当たり就労日数および1日当たり就労時間

※ 問7で「1」または「2」に○をつけた方のみ

問7-1 現在の、1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。

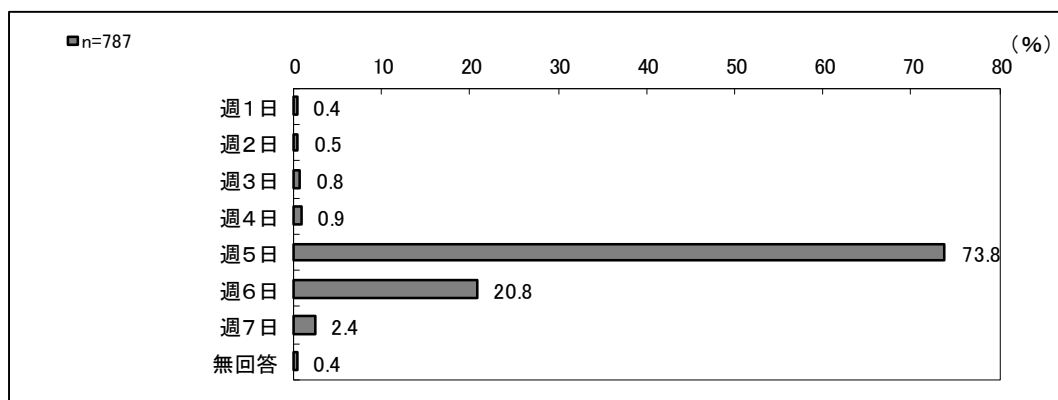
- ① 父親：1週当たり就労日数
- ② 父親：1日当たり就労時間



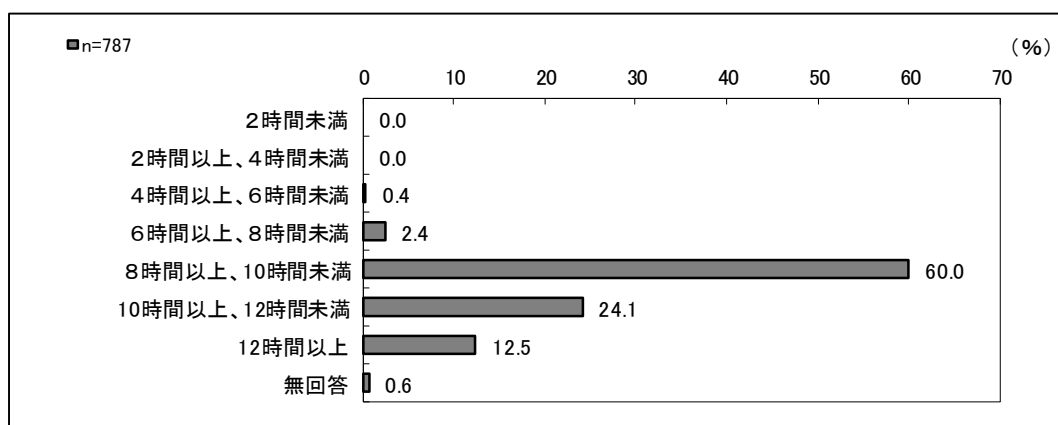
1週当たり就労日数については、「週5日」（73.8%）、「週6日」（20.8%）で回答の大半を占める。

1日当たり就労時間については、「8時間以上、10時間未満」（60.0%）、「10時間以上、12時間未満」（24.1%）、「12時間以上」（12.5%）で回答の大半を占める。

■父親：1週当たり就労日数／週■



■父親：1日当たり就労時間／日■



(9) 父親：フルタイムへの転換希望

※ 問7で「2」に○をつけた方のみ

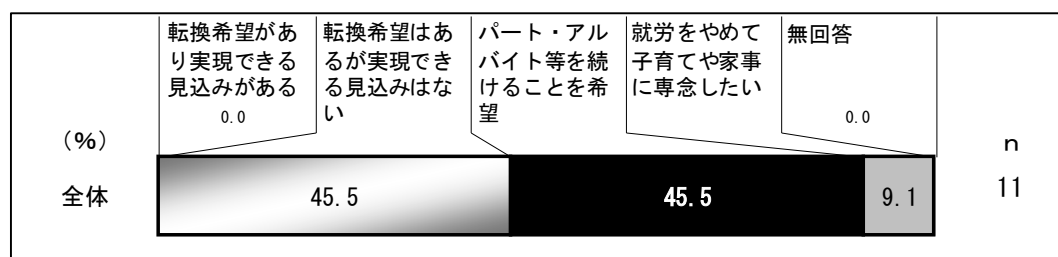
問7-2 フルタイム（1週5日程度、1日8時間程度の就労）への転換希望はありますか。



回答者数（n数）が11件のため参考値。

「転換希望はあるが実現できる見込みはない」（45.5%）、「パート・アルバイト等続けることを希望」（45.5%）、「就労をやめて子育てや家事に専念したい」（9.1%）。

■父親：フルタイムへの転換希望■



(10) 父親：就労希望について

※ 問 7 で「3」に○をつけた方のみ

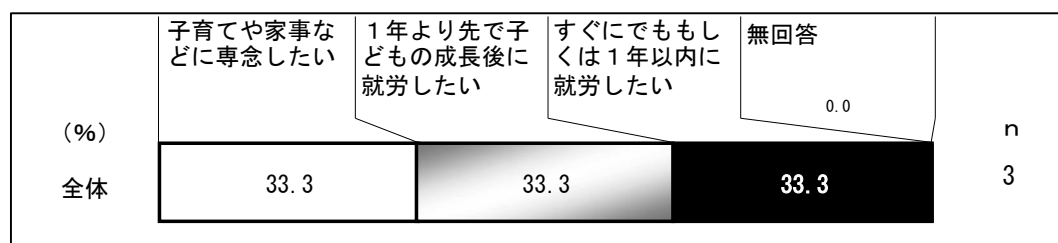
問 7-3 就労したいという希望はありますか。



回答者数（n 数）が 3 件のため参考値。

「子育てや家事などに専念したい」（33.3%）、「1 年より先で子どもの成長後に就労したい」（33.3%）、「すぐにでももしくは 1 年以内に就労したい」（33.3%）。

■父親：就労希望について■



(11) 父親：就労希望の形態

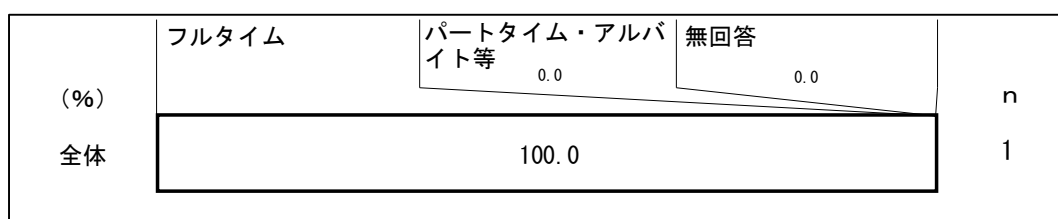
※ 問 7 で「3」に○をつけた方のみ

問 7-3-1 父親：就労希望の形態



回答者数（n 数）が 1 件のため参考値。

■父親：就労希望の形態■



(12) 父親：希望する 1 週当たり就労日数および 1 日当たり就労時間

※ 問 7-3-1 で「イ」に○をつけた方のみ

問 7-3-2 父親：希望する 1 週当たり就労日数

問 7-3-3 父親：希望する 1 日当たり就労時間



※回答者なし

4. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

(1) 定期的な教育・保育の事業の利用状況

問8 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。



「利用している」(67.5%)、「利用していない」(31.9%)。

■定期的な教育・保育の事業の利用状況■

	利用している	利用していない	無回答	
(%)			0.6	n
全体	67.5	31.9		855

(2) 平日定期的に利用している教育・保育の事業

※ 問8で「1. 利用している」に○をつけた方のみ

問8-1 宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。【複数回答】

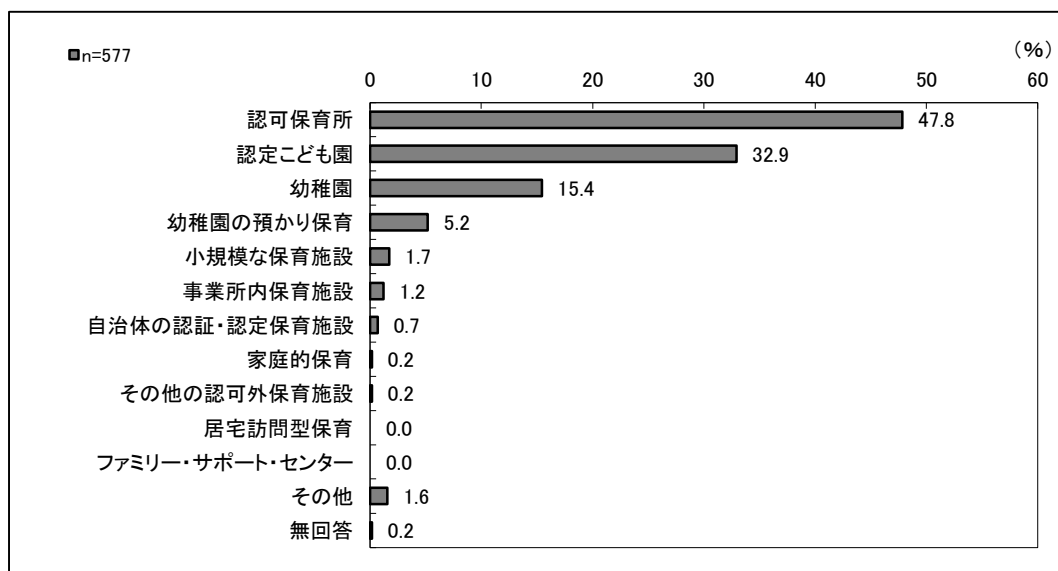


「認可保育所」(47.8%)、「認定こども園」(32.9%)が高い割合を占める。

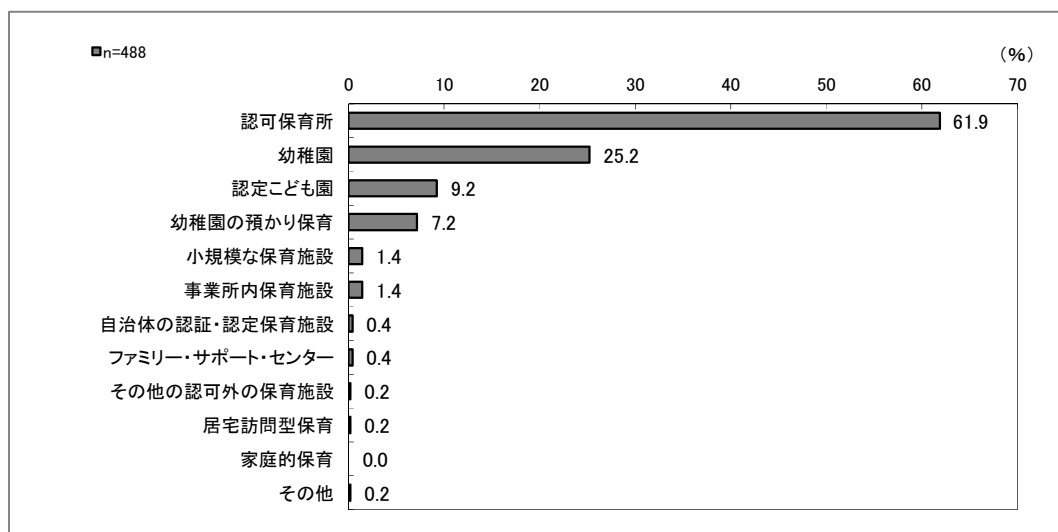
「幼稚園」(15.4%)、「幼稚園の預かり保育」(5.2%)、「小規模な保育施設」(1.7%)等がこれに続く。

前回調査と比較して「認可保育所」が14.1ポイント、「幼稚園」が9.8ポイント減少し、「認定こども園」が23.7ポイント増加している。

■ 平日定期的に利用している教育・保育の事業 ■



■ (参考) 前回調査の結果 ■



(3) 平日の定期的な教育・保育の事業の利用状況

問 8-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、(1) 現在どのくらい利用していますか。

- (1) - 1 現在の利用日数／週
- (1) - 2 現在の利用時間／日
- (1) - 3 現在の開始時刻
- (1) - 4 現在の終了時刻



現在の利用日数／週については、「週 5 日」(90.1%) が大半を占める。

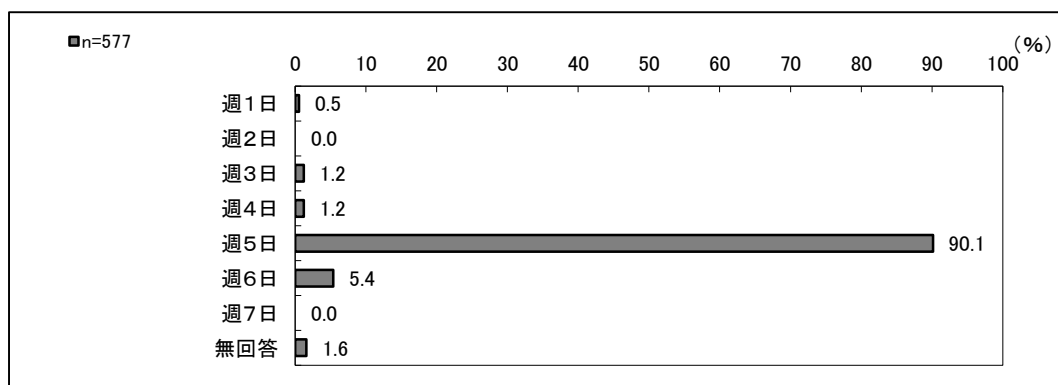
現在の利用時間／日については、「9 時間以上」(40.4%)、「8 時間以上、9 時間未満」(29.3%)、が高い割合を占め、「7 時間以上、8 時間未満」(11.6%)、「6 時間以上、7 時間未満」(8.0%)、「5 時間以上、6 時間未満」(6.9%)、等がこれに続く。

現在の開始時刻については、「8 時台」(54.8%)、「9 時台」(34.7%)、が高い割合を占める。

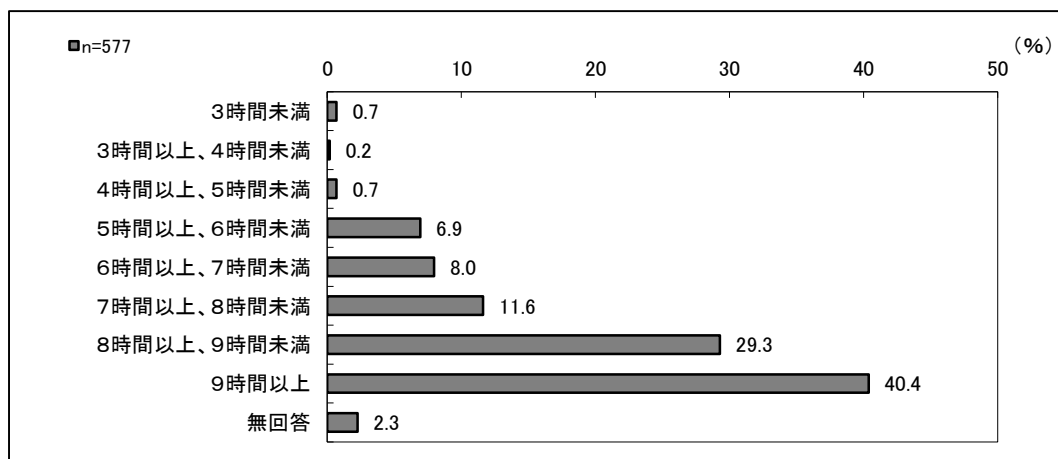
また、現在の終了時刻については、「17 時台」(30.0%)、「16 時台」(28.4%)、「18 時台」(20.6%) が高い割合を占め、「14 時台」(8.0%)、「15 時台」(7.3%) 等がこれに続く。

現在の利用状況（利用頻度、利用時間）

■現在の利用日数／週■

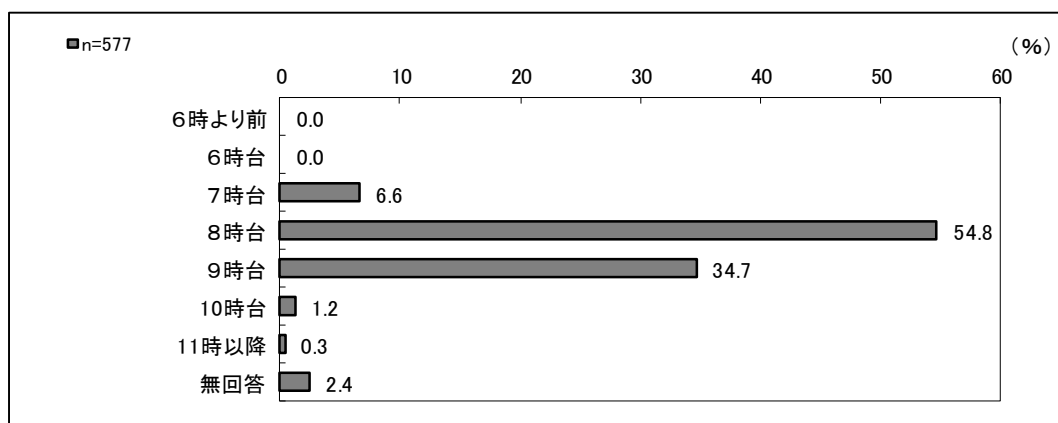


■現在の利用時間／日■

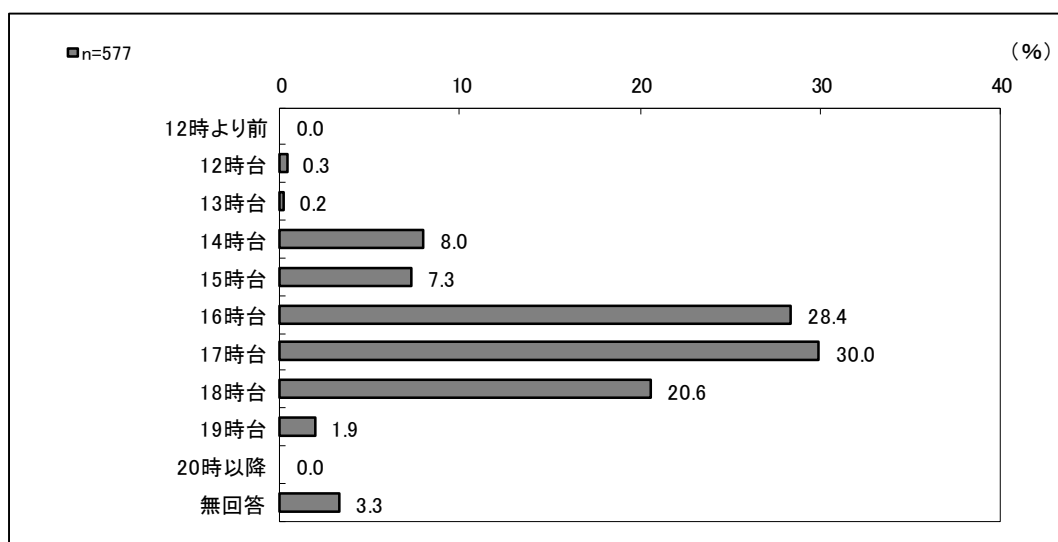


現在の利用状況（開始時刻、終了時刻）

■現在の開始時刻■



■現在の終了時刻■



(4) 希望の利用日数／週

問 8-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、(2) 希望としてはどのくらい利用したいですか。

- (2) - 1 希望の利用日数／週
- (2) - 2 希望の利用時間／日
- (2) - 3 希望の開始時刻
- (2) - 4 希望の終了時刻



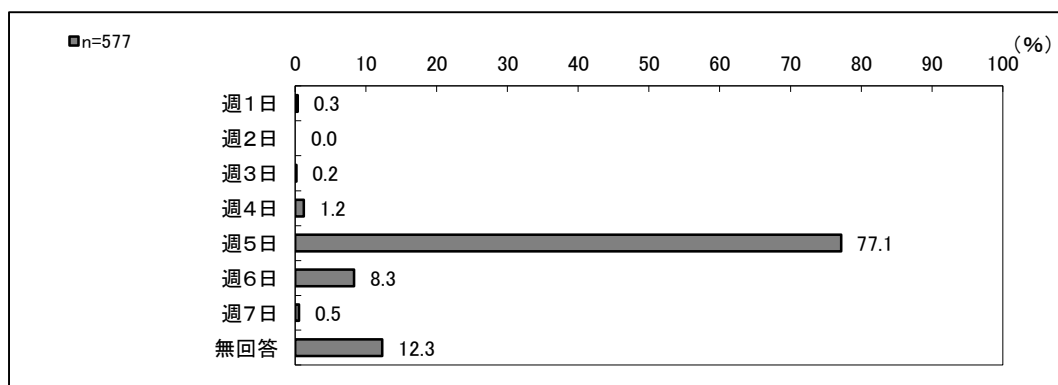
希望の利用日数／週については、「週 5 日」(77.1%)、「週 6 日」(8.3%) が大半を占める。
希望の利用時間／日については、「9 時間以上」(41.1%) が最も高い割合を占め、「8 時間以上、9 時間未満」(24.1%)、「7 時間以上、8 時間未満」(11.8%) 等がこれに続く。

希望の開始時刻については、「8 時台」(44.7%)、「9 時台」(29.5%) が高い割合を占める。

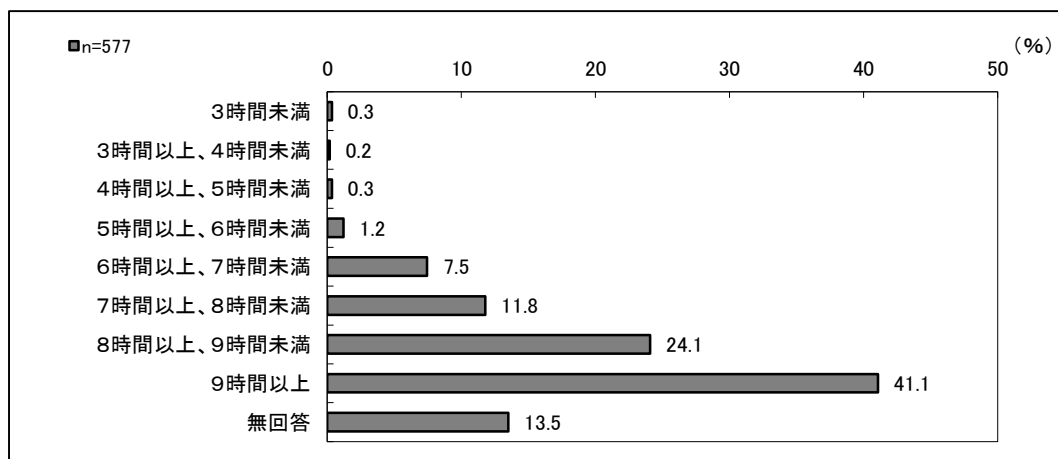
また、希望の終了時刻については、「17 時台」(26.5%)、「16 時台」(23.2%)、「18 時台」(19.6%) が高い割合を占め、「19 時台」(6.8%)、「15 時台」(5.5%)、「14 時台」(2.1%) 等がこれに続く。

希望する利用状況（利用頻度，利用時間）

■希望の利用日数／週■

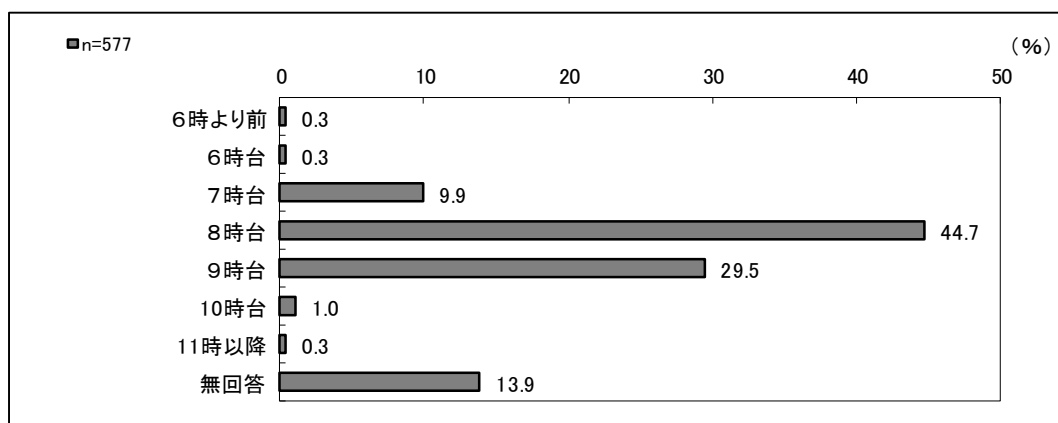


■希望の利用時間／日■

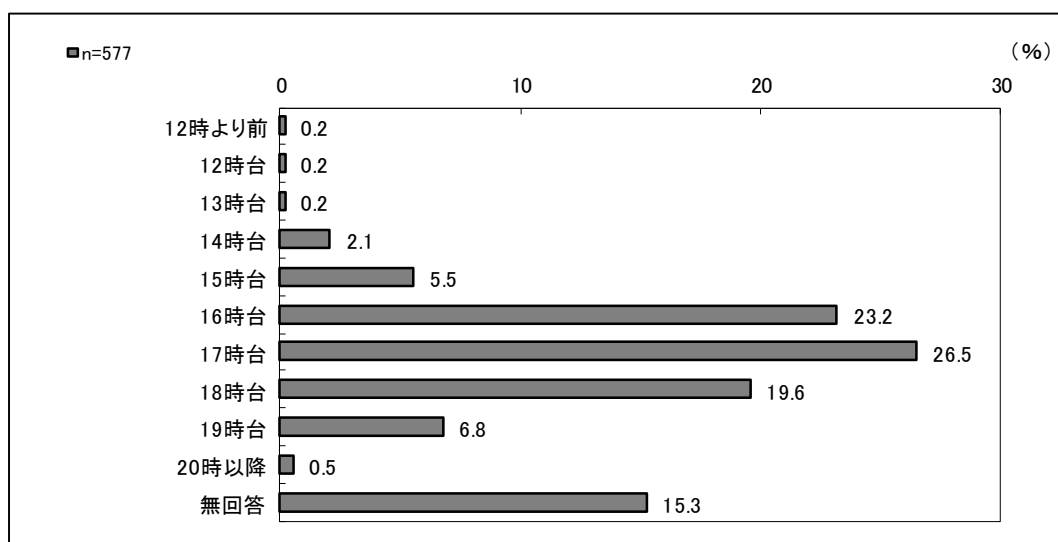


希望する利用状況（開始時刻、終了時刻）

■希望の開始時刻■



■希望の終了時刻■



(5) 定期的に利用したい教育・保育の事業

問9 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。【複数回答】

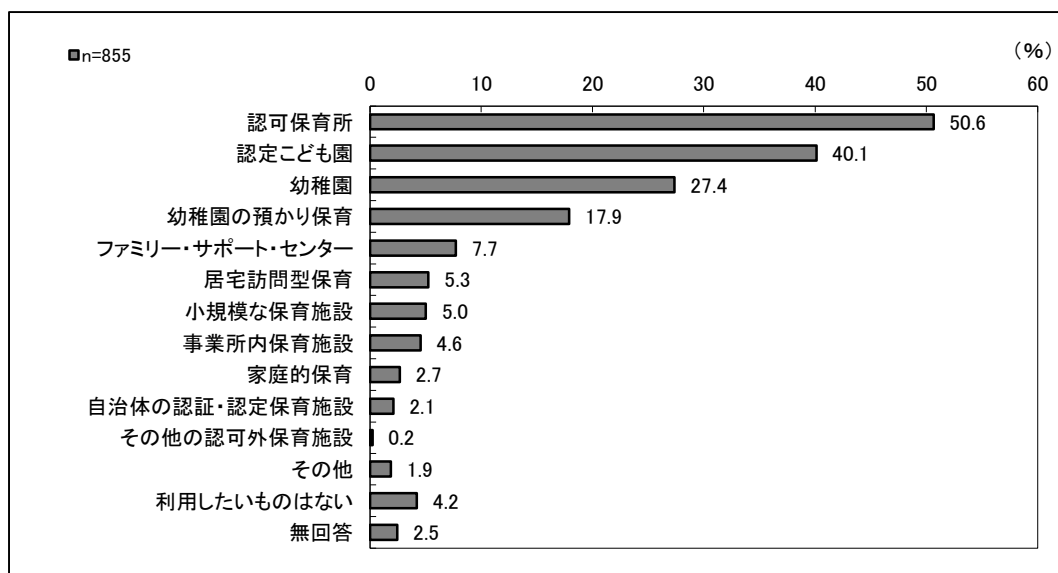


「認可保育所」が50.6%で過半数を占める。

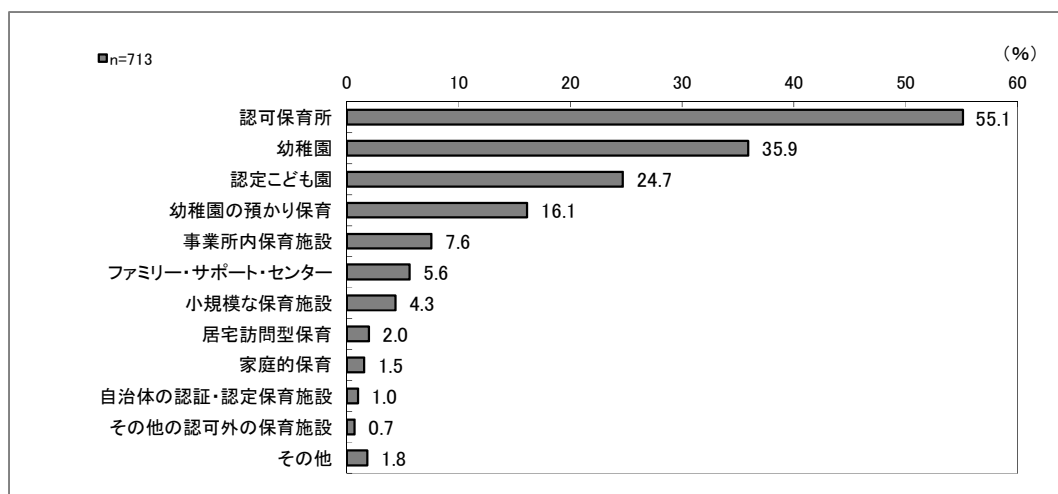
「認定こども園」(40.1%)、「幼稚園」(27.4%)、「幼稚園の預かり保育」(17.9%)等がこれに続く。

前回調査と比較して「認可保育所」が4.5ポイント、「幼稚園」が8.5ポイント減少し、「認定こども園」が15.4ポイント増加している。

■定期的に利用したい教育・保育の事業■



■（参考）前回調査の結果■



5. 土曜日・休日の定期的な教育・保育事業の利用希望について

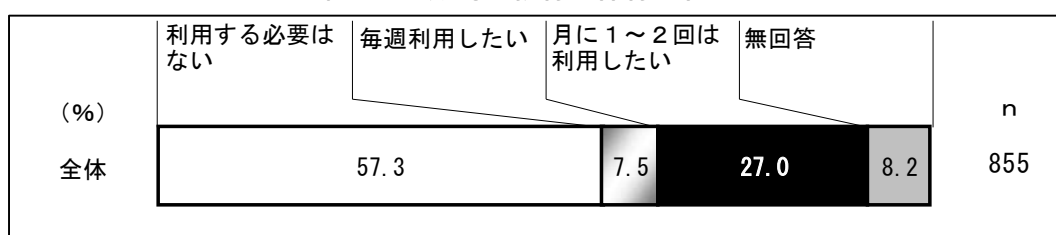
(1) 土曜日の定期的な教育・保育の利用意向

問 10 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか。

(1) 土曜日

「利用する必要はない」(57.3%)、「毎週利用したい」(7.5%)、「月に1～2回は利用したい」(27.0%)。

■土曜日の定期的な教育・保育の利用意向■

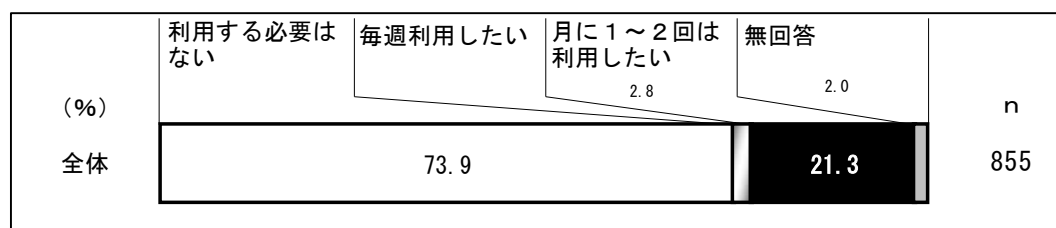


(2) 日曜日の定期的な教育・保育の利用希望

(2) 日曜・祝日

「利用する必要はない」(73.9%)、「毎週利用したい」(2.8%)、「月に1～2回は利用したい」(21.3%)。

■日曜日の定期的な教育・保育の利用希望■



6. こども誰でも通園制度について

(1) 定期預かり事業の利用意向

問 11 お子さんについて、定期預かり事業（（仮称）こども誰でも通園制度※）を利用したいと思いますか（利用しなかったですか）。

「利用したい」（56.1%）、「利用したいとは思わない」（42.5%）。

■定期預かり事業の利用意向■

(%)	利用したい	利用したいとは思わ ない	無回答 1.4	n
全体	56.1	42.5		855

(2) 長期休暇期間中の教育・保育事業の利用希望

※ 問 11 で、「1. 利用したい（利用しなかった）」に○をつけた方のみ

問 11-1 利用するとした場合の、(1) 利用希望日数および利用希望時間と、(2) 利用開始を希望する子どもの年齢をそれぞれお答えください。

- (1) - 1 利用希望日数／週
- (1) - 2 利用希望時間／日
- (1) - 3 利用希望開始時刻
- (1) - 4 利用希望終了時刻

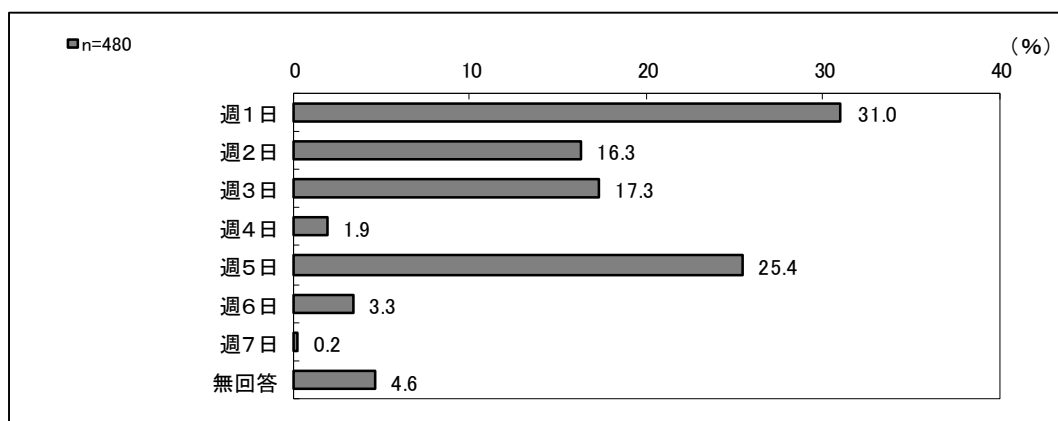
利用希望日数／週については、「週 1 日」（31.0%）、「週 5 日」（25.4%）が高い割合を占める。
利用希望時間／日については、「8 時間以上、9 時間未満」（19.2%）が最も高い割合を占め、「6 時間以上、7 時間未満」（15.6%）、「9 時間以上」（15.2%）、「5 時間以上、6 時間未満」（12.1%）、「4 時間以上、5 時間未満」（11.9%）、「7 時間以上、8 時間未満」（11.0%）、「3 時間以上、4 時間未満」（8.5%）、「3 時間未満」（1.9%）がこれに続く。

利用希望開始時刻については、「9 時台」（46.0%）が最も高い割合を占め、「8 時台」（26.9%）、「10 時台」（13.1%）、「7 時台」（4.2%）、「11 時以降」（3.8%）等がこれに続く。

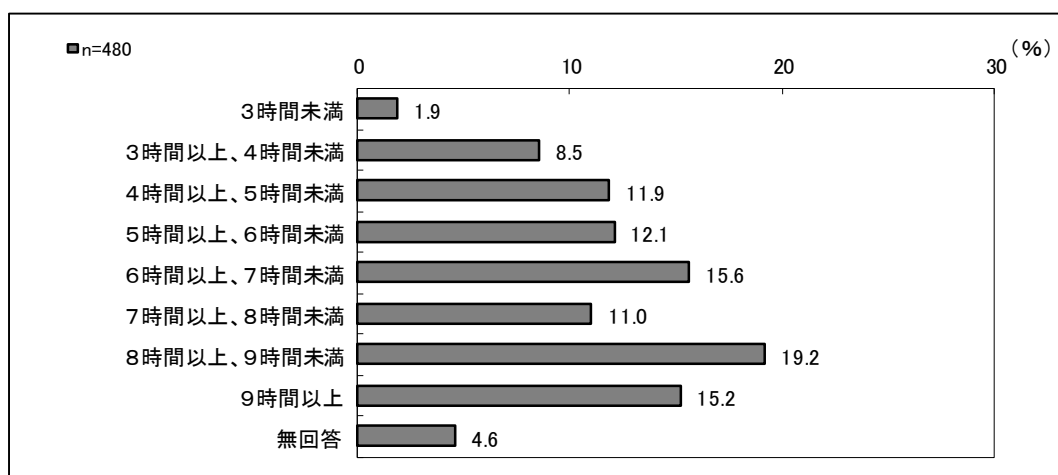
利用希望終了時刻については、「16 時台」（23.1%）が最も高い割合を占める。

希望する利用状況（利用頻度，利用時間）

■利用希望日数／週■

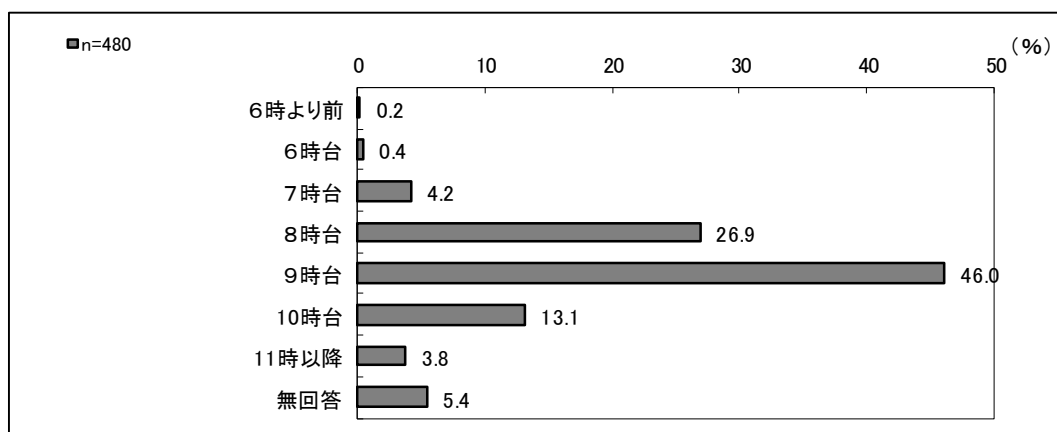


■利用希望時間／日■

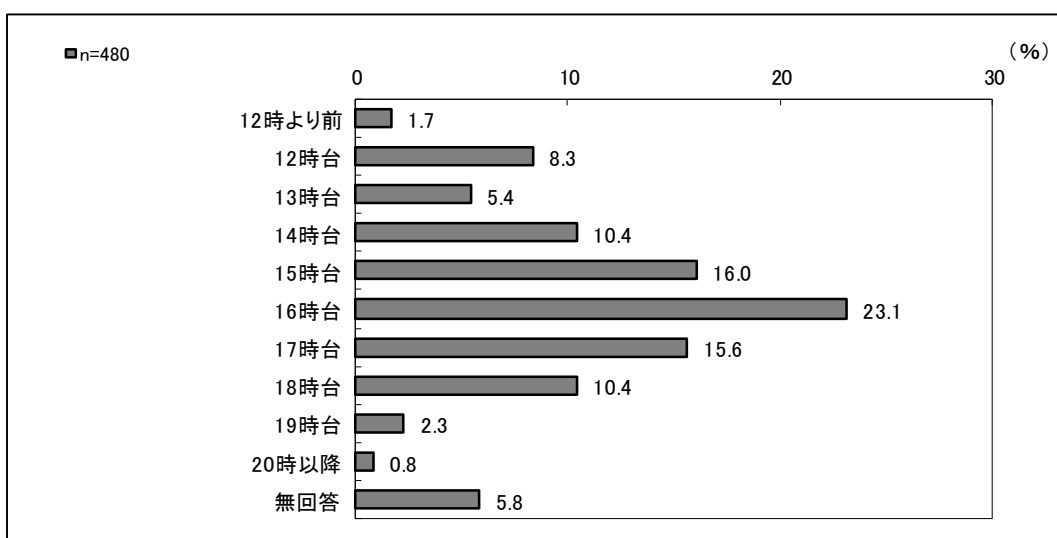


希望する利用状況（開始時刻、終了時刻）

■利用希望開始時刻■



■利用希望終了時刻■



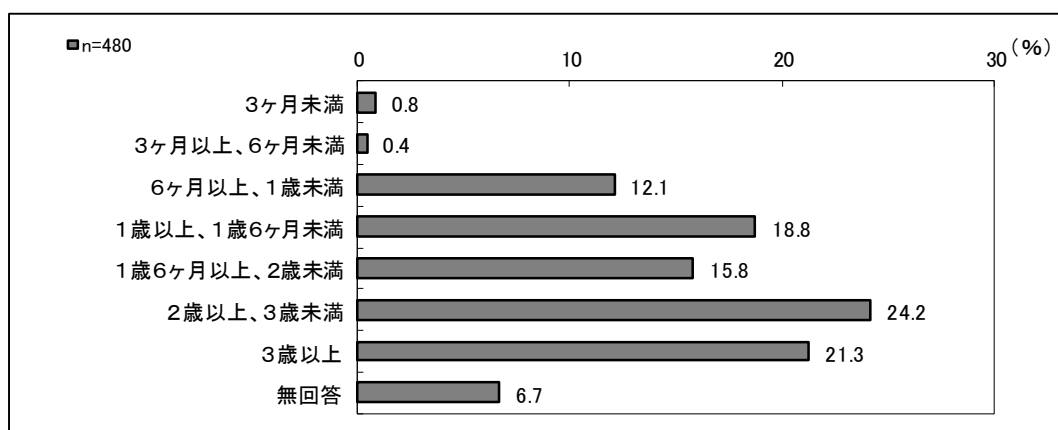
(3) 利用開始希望年齢-歳+月齢(ヶ月)

(2) 利用開始希望年齢-歳+月齢(ヶ月)



「2歳以上、3歳未満」(24.2%)、「3歳以上」(21.3%)、「1歳以上、1歳6ヶ月未満」(18.8%)、「1歳6ヶ月以上、2歳未満」(15.8%)、「6ヶ月以上、1歳未満」(12.1%)、「3ヶ月未満」(0.8%)、「3ヶ月以上、6ヶ月未満」(0.4%)、「3ヶ月以上、6ヶ月未満」(0.4%)。

■利用開始希望年齢-歳+月齢(ヶ月)■



(4) 定期預かり事業の利用希望の理由

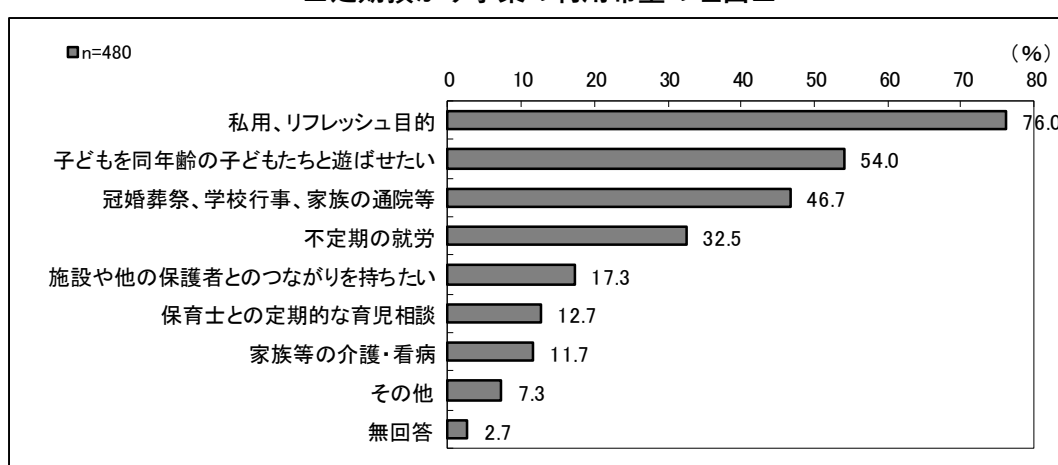
※ 問 11 で、「1. 利用したい（利用しなかった）」に○をつけた方のみ

問 11-2 定期預かり事業（（仮称）こども誰でも通園制度）の利用を希望する理由をお答えください。【複数回答】

「私用、リフレッシュ目的」（76.0％）が最も高い割合を占める。

「子どもを同年齢の子どもたちと遊ばせたい」（54.0％）、「冠婚葬祭、学校行事、家族の通院等」（46.7％）、「不規則の就労」（32.5％）等がこれに続く。

■定期預かり事業の利用希望の理由■



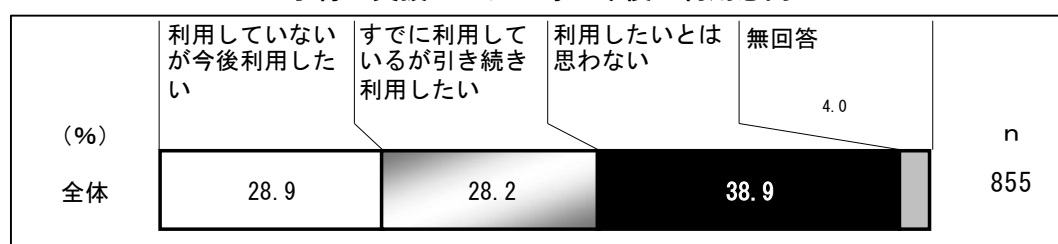
7. 地域子育て支援拠点事業の認知状況や利用状況について

(1) 子育て支援センター等の今後の利用意向

問 12 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「つどいの広場」「子育て支援センター」等と呼ばれています）を利用したいと思いますか。

「利用していないが今後利用したい」（28.9％）、「すでに利用しているが引き続き利用したい」（28.2％）、「利用したいとは思わない」（38.9％）。

■子育て支援センター等の今後の利用意向■



(2) 子育て支援センター等の今後の利用希望回数／月

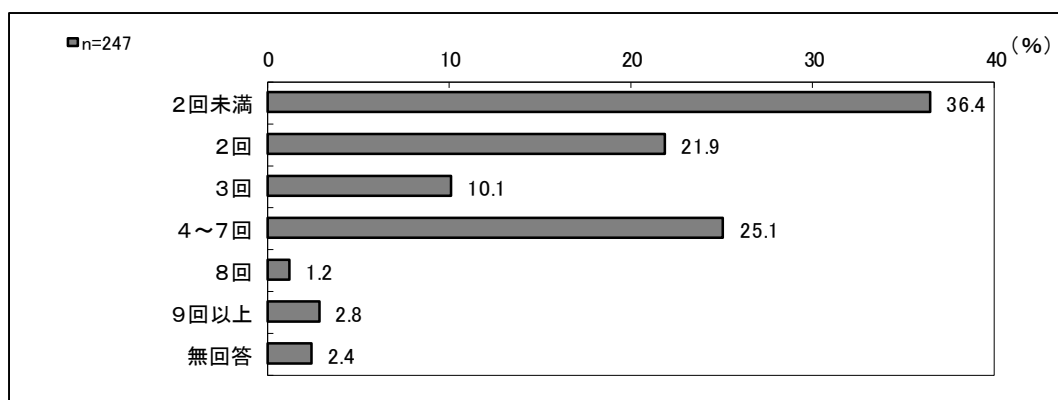
1. 今後利用したい：回／月
2. 引き続き利用したい：回／月



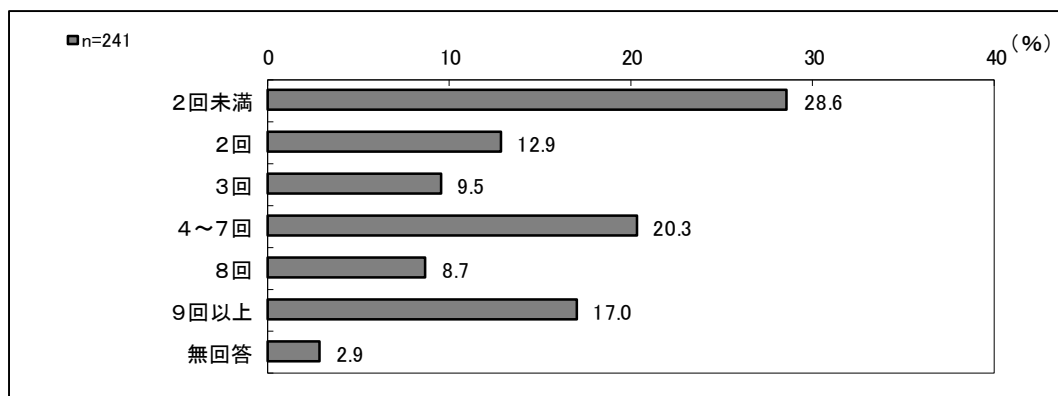
今後利用したい：回／月については、「2回未満」(36.4%)、「4～7回」(25.1%)、「2回」(21.9%)、「3回」(10.1%)、「9回以上」(2.8%)、「8回」(1.2%)となっている。

引き続き利用したい：回／月については、「2回未満」(28.6%)、「4～7回」(20.3%)、「2回」(12.9%)、「3回」(9.5%)、「8回」(8.7%)、「9回以上」(17.0%)となっている。

■今後利用したい：回／月■



■引き続き利用したい：回／月■



(3) 事業やサービス等の認知状況・利用経験・利用意向

問 13 下記の事業やサービス等で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。

A 認知状況

①保健センターの育児相談・電話相談、②保健センターの両親学級、③保健センターの育児学級、④保健センターの訪問による支援指導、⑤保健センターの乳幼児健康診査、⑥産後ケア事業、⑦ほんじょう健康相談ダイヤル 24、⑧小児救急電話相談事業（＃ 8 0 0 0）、⑨発達教育支援センター「すきっぷ」、⑩子育て応援アプリ、⑪保育園等の園庭等の開放や教室、⑫子育て支援センター、⑬つどいの広場、⑭児童センター、⑮家庭児童相談室、⑯赤ちゃんの駅、⑰パパ・ママ応援ショップ優待カード、⑱多子世帯応援ショップ、⑲子育てアドバイザー、⑳家庭教育に関する学級、㉑教育支援センター・教育相談室、㉒放課後子ども教室、㉓ファミリー・サポート・センター、㉔ショートステイ、㉕保育園（幼稚園）での一時預かり事業、㉖病児・病後児保育、㉗ほんじょう助け合いサービス

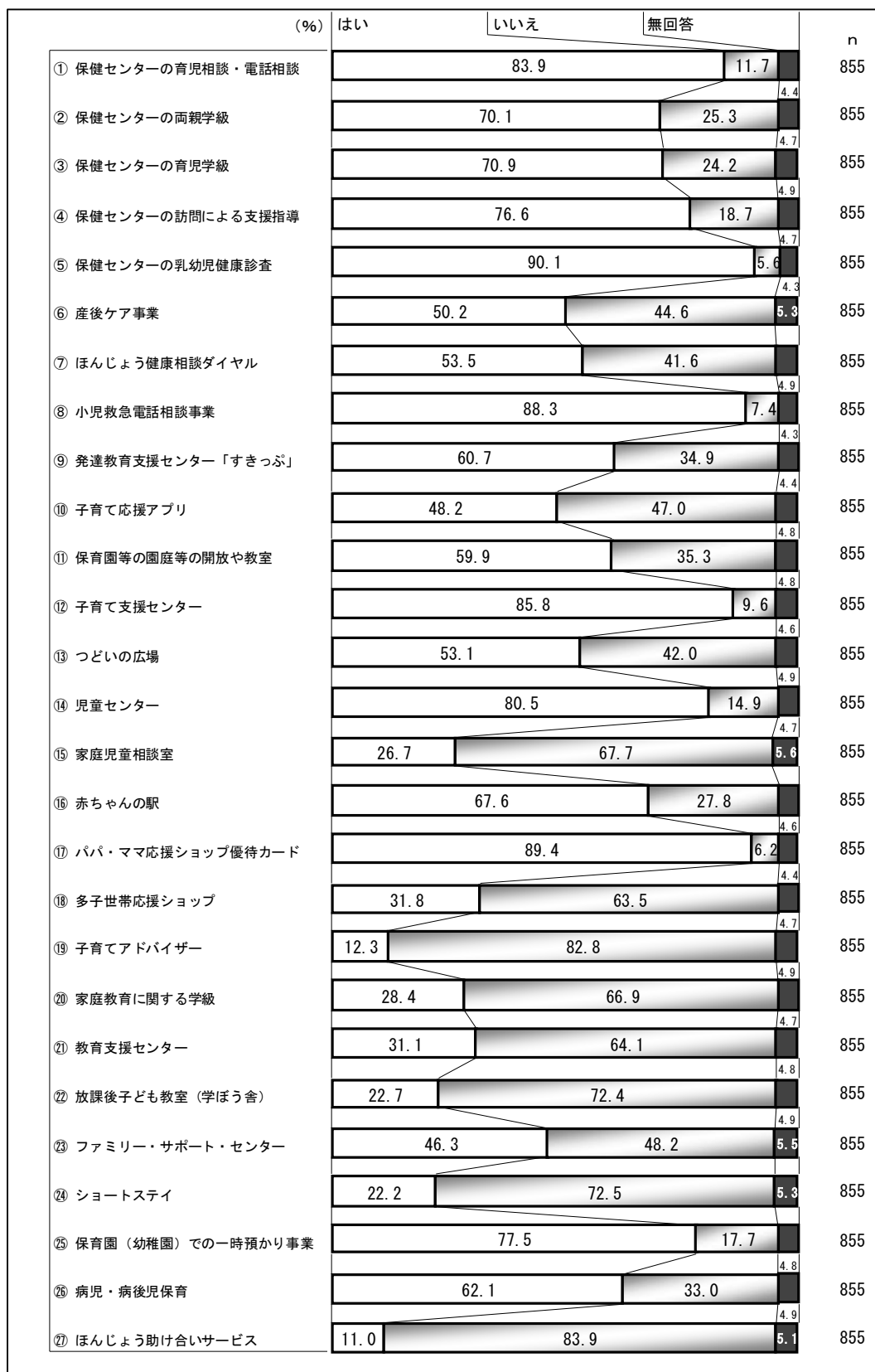


事業やサービスの認知状況については、以下のとおりとなっている。

認知状況が高い割合（上位 3 位）となったのは「⑤保健センターの乳幼児健康診査」（90.1%）、「⑰パパ・ママ応援ショップ優待カード」（89.4%）、「⑧小児救急電話相談事業（＃ 8 0 0 0）」（88.3%）。

一方、認知状況が低い割合（下位 3 位）となったのは「㉗ほんじょう助け合いサービス」（11.0%）、「⑲子育てアドバイザー」（12.3%）、「㉔ショートステイ」（22.2%）。

■ A 認知状況 ■



(4) 事業やサービス等の認知状況・利用経験・利用意向

問 13 下記の事業やサービス等で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。

B 利用経験

①保健センターの育児相談・電話相談、②保健センターの両親学級、③保健センターの育児学級、④保健センターの訪問による支援指導、⑤保健センターの乳幼児健康診査、⑥産後ケア事業、⑦ほんじょう健康相談ダイヤル 24、⑧小児救急電話相談事業（＃８０００）、⑨発達教育支援センター「すきっぷ」、⑩子育て応援アプリ、⑪保育園等の園庭等の開放や教室、⑫子育て支援センター、⑬つどいの広場、⑭児童センター、⑮家庭児童相談室、⑯赤ちゃんの駅、⑰パパ・ママ応援ショップ優待カード、⑱多子世帯応援ショップ、⑲子育てアドバイザー、⑳家庭教育に関する学級、㉑教育支援センター・教育相談室、㉒放課後子ども教室、㉓ファミリー・サポート・センター、㉔ショートステイ、㉕保育園（幼稚園）での一時預かり事業、㉖病児・病後児保育、㉗ほんじょう助け合いサービス



事業やサービスの利用経験については、以下のとおりとなっている。

利用経験が高い割合（上位３位）となったのは「⑤保健センターの乳幼児健康診査」（79.8%）、「⑰パパ・ママ応援ショップ優待カード」（75.7%）、「⑫子育て支援センター」（56.0%）。

一方、利用経験が低い割合（下位３位）となったのは「㉗ほんじょう助け合いサービス」（0.5%）、「㉔ショートステイ」（0.7%）、「⑲子育てアドバイザー」（0.8%）。

■ B 利用経験 ■

(%)	はい	いいえ	無回答	n
① 保健センターの育児相談・電話相談	30.4	62.1	7.5	855
② 保健センターの両親学級	31.7	61.1	7.3	855
③ 保健センターの育児学級	33.5	60.0	6.5	855
④ 保健センターの訪問による支援指導	46.9	45.5	7.6	855
⑤ 保健センターの乳幼児健康診査	79.8	14.3	6.0	855
⑥ 産後ケア事業	8.3	84.0	7.7	855
⑦ ほんじょう健康相談ダイヤル	19.3	73.2	7.5	855
⑧ 小児救急電話相談事業	55.9	37.2	6.9	855
⑨ 発達教育支援センター「すきっぷ」	13.3	78.8	7.8	855
⑩ 子育て応援アプリ	28.0	64.1	8.0	855
⑪ 保育園等の園庭等の開放や教室	29.5	63.2	7.4	855
⑫ 子育て支援センター	56.0	37.1	6.9	855
⑬ つどいの広場	26.1	66.3	7.6	855
⑭ 児童センター	46.3	46.5	7.1	855
⑮ 家庭児童相談室	1.4	90.1	8.5	855
⑯ 赤ちゃんの駅	42.5	50.4	7.1	855
⑰ パパ・ママ応援ショップ優待カード	75.7	17.8	6.5	855
⑱ 多子世帯応援ショップ	6.0	85.7	8.3	855
⑲ 子育てアドバイザー	0.8	91.1	8.1	855
⑳ 家庭教育に関する学級	5.6	86.2	8.2	855
㉑ 教育支援センター	2.9	88.5	8.5	855
㉒ 放課後子ども教室（学ぼう舎）	1.8	89.6	8.7	855
㉓ ファミリー・サポート・センター	2.4	88.1	8.5	855
㉔ ショートステイ	0.7	91.0	8.3	855
㉕ 保育園（幼稚園）での一時預かり事業	19.1	73.0	8.0	855
㉖ 病児・病後児保育	2.3	89.5	8.2	855
㉗ ほんじょう助け合いサービス	0.5	91.2	8.3	855

(5) 事業やサービス等の認知状況・利用経験・利用意向

問 13 下記の事業やサービス等で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。

C 利用意向

①保健センターの育児相談・電話相談、②保健センターの両親学級、③保健センターの育児学級、④保健センターの訪問による支援指導、⑤保健センターの乳幼児健康診査、⑥産後ケア事業、⑦ほんじょう健康相談ダイヤル 24、⑧小児救急電話相談事業（＃ 8 0 0 0）、⑨発達教育支援センター「すきっぷ」、⑩子育て応援アプリ、⑪保育園等の園庭等の開放や教室、⑫子育て支援センター、⑬つどいの広場、⑭児童センター、⑮家庭児童相談室、⑯赤ちゃんの駅、⑰パパ・ママ応援ショップ優待カード、⑱多子世帯応援ショップ、⑲子育てアドバイザー、⑳家庭教育に関する学級、㉑教育支援センター・教育相談室、㉒放課後子ども教室、㉓ファミリー・サポート・センター、㉔ショートステイ、㉕保育園（幼稚園）での一時預かり事業、㉖病児・病後児保育、㉗ほんじょう助け合いサービス



事業やサービスの利用意向については、以下のとおりとなっている。

利用意向が高い割合（上位 3 位）となったのは「⑰パパ・ママ応援ショップ優待カード」（85.3%）、「⑧小児救急電話相談事業（＃ 8 0 0 0）」（81.6%）、「⑤保健センターの乳幼児健康診査」（68.4%）。

一方、利用意向が低い割合（下位 3 位）となったのは「㉔ショートステイ」（21.9%）、㉗ほんじょう助け合いサービス」（26.3%）、「⑮家庭児童相談室」（32.4%）。

■ C 利用意向 ■

(%)	はい	いいえ	無回答	n
① 保健センターの育児相談・電話相談	54.9	36.1	9.0	855
② 保健センターの両親学級	34.0	56.1	9.8	855
③ 保健センターの育児学級	38.4	52.2	9.5	855
④ 保健センターの訪問による支援指導	38.5	51.3	10.2	855
⑤ 保健センターの乳幼児健康診査	68.4	21.5	10.1	855
⑥ 産後ケア事業	37.8	52.5	9.7	855
⑦ ほんじょう健康相談ダイヤル	58.7	31.8	9.5	855
⑧ 小児救急電話相談事業	81.6	9.1	9.2	855
⑨ 発達教育支援センター「すきっぷ」	40.4	49.7	9.9	855
⑩ 子育て応援アプリ	59.1	31.0	9.9	855
⑪ 保育園等の園庭等の開放や教室	56.7	34.4	8.9	855
⑫ 子育て支援センター	59.1	31.5	9.5	855
⑬ つどいの広場	46.8	43.9	9.4	855
⑭ 児童センター	65.3	25.8	8.9	855
⑮ 家庭児童相談室	32.4	58.0	9.6	855
⑯ 赤ちゃんの駅	56.0	34.7	9.2	855
⑰ パパ・ママ応援ショップ優待カード	85.3	6.1	8.8	855
⑱ 多子世帯応援ショップ	43.7	47.6	8.7	855
⑲ 子育てアドバイザー	37.4	53.6	9.0	855
⑳ 家庭教育に関する学級	32.7	57.5	9.7	855
㉑ 教育支援センター	33.6	57.3	9.1	855
㉒ 放課後子ども教室（学ぼう舎）	42.2	48.3	9.5	855
㉓ ファミリー・サポート・センター	36.6	53.8	9.6	855
㉔ ショートステイ	21.9	68.9	9.2	855
㉕ 保育園（幼稚園）での一時預かり事業	51.1	39.6	9.2	855
㉖ 病児・病後児保育	49.2	41.6	9.1	855
㉗ ほんじょう助け合いサービス	26.3	63.2	10.5	855

8. 子どもの病気の際の対応について

(1) 子どもの病気やケガで利用できなかったこと

※ 問8で「1. 利用している」に○をつけた方のみ

問14 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

「あった」(68.3%)、「なかった」(26.0%)。

■子どもの病気やケガで利用できなかったこと■

(%)	あった	なかった	無回答	n
全体	68.3	26.0	5.7	577

(2) この1年間の対処方法

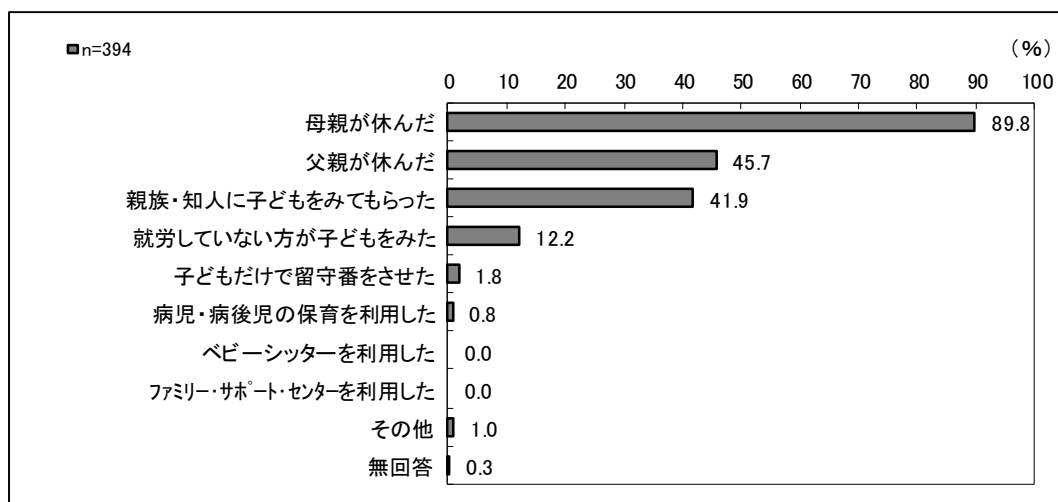
※ 問14で「1. あった」と回答した方のみ

問14-1 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法としてあてはまるものすべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください。

① この1年間の対処方法【複数回答】

「母親が休んだ」(89.8%)、「父親が休んだ」(45.7%)、「親族・知人に子どもをみてもらった」(41.9%)が高い割合を占める。

■この1年間の対処方法■



(3) この1年間の対処方法の日数

② この1年間の対処方法の日数



不定期に利用している日数については、以下のとおりとなっている。

■日数（一覧）■

（単位：％）

	1～4 日	5～9 日	10～14 日	15～29 日	30 日以上	無回答
1. 父親が休んだ（n=180）	48.3	24.4	16.7	5.6	1.7	3.3
2. 母親が休んだ（n=354）	12.1	20.9	22.3	24.0	15.3	5.4
3. 親族・知人に子どもをみてもらった（n=165）	32.7	28.5	19.4	12.1	4.2	3.0
4. 就労していない保護者がみた（n=48）	4.2	22.9	33.3	12.5	22.9	4.2
5. 病児・病後児の保育を利用した（n=3）	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
6. ベビーシッターを利用した（n=0）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7. ファミリー・サポート・センターを利用した（n=0）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた（n=7）	57.1	28.6	0.0	0.0	0.0	14.3
9. その他（n=4）	0.0	0.0	75.0	25.0	0.0	0.0

(4) 病児・病後児保育の利用意向

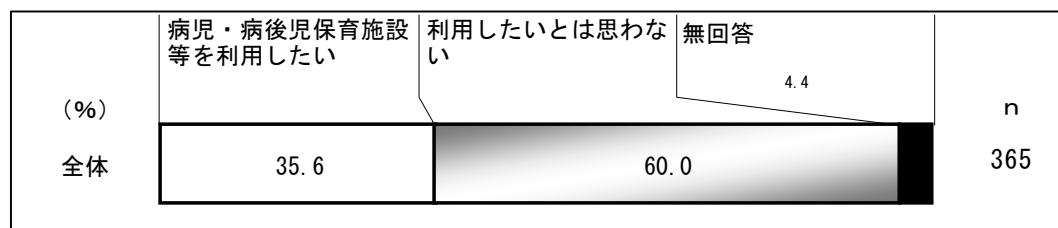
※ 問 14-1 で「1」または「2」のいずれかに○をつけた方のみ

問 14-2 その際、「病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。



「利用したいとは思わない」(60.0%)、「病児・病後児保育施設等を利用したい」(35.6%)。

■病児・病後児保育の利用意向■



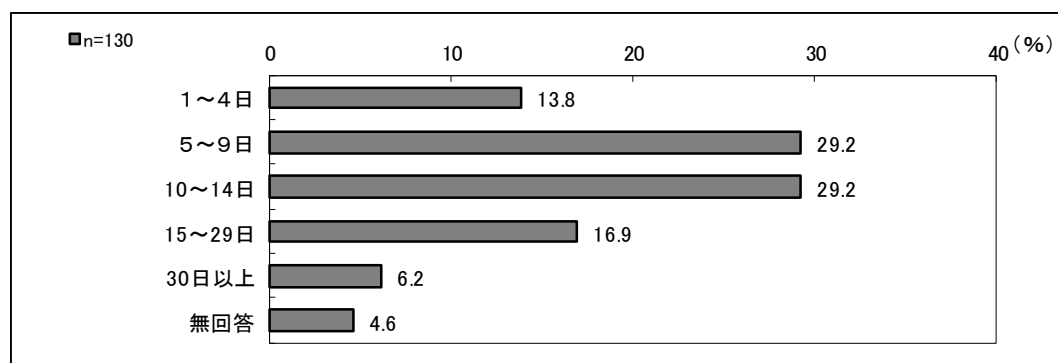
(5) 病児・病後児保育施設等を利用したかった日数／年

問 14-2-1 病児・病後児保育施設等を利用したかった日数／年



「5～9日」(29.2%)、「10～14日」(29.2%)、「15～29日」(16.9%)、「1～4日」(13.8%)、「30日以上」(6.2%)。

■病児・病後児保育施設等を利用したかった日数／年■



9. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

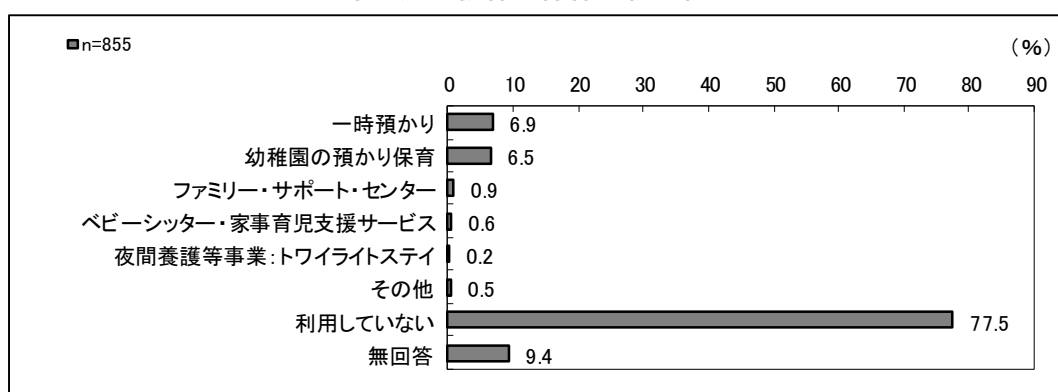
(1) 不定期の教育・保育の利用状況

問 15 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。あてはまるものすべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）を□内に数字でご記入ください。【複数回答】



「利用していない」（77.5%）が最も高い割合を占める。
利用している事業としては、「一時預かり」（6.9%）、「幼稚園の預かり保育」（6.5%）、「ファミリー・サポート・センター」（0.9%）、「ベビーシッター・家事育児支援サービス」（0.6%）、「夜間養護等事業：トワイライトステイ」（0.2%）等となっている。

■不定期の教育・保育の利用状況■



(2) 不定期に利用している日数

① 不定期に利用している日数



不定期に利用している日数については、以下のとおりとなっている。

■日数（一覧）■

(単位：％)

	1～4日	5～9日	10～14日	15～29日	30日以上	無回答
1. 一時預かり (n=59)	27.1	16.9	10.2	5.1	11.9	28.8
2. 幼稚園の預かり保育 (n=56)	28.6	14.3	8.9	7.1	14.3	26.8
3. ファミリー・サポート・センター (n=8)	37.5	0.0	0.0	0.0	12.5	50.0
4. 夜間養護等事業：トワイライトステイ (n=2)	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0
5. ベビーシッター・家事育児支援サービス (n=5)	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	40.0
6. その他 (n=4)	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0

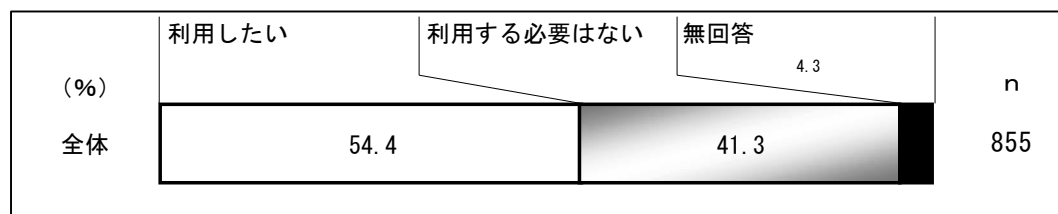
(3) 不定期の教育・保育の利用意向

問 16 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、問 15 の選択肢に挙げられるような事業を利用したいと思いますか。



「利用したい」(54.4%)、「利用する必要はない」(41.3%)。

■不定期の教育・保育の利用意向■



(4) 希望する利用目的

※ 問 16 で「1. 利用したい」に○をつけた方

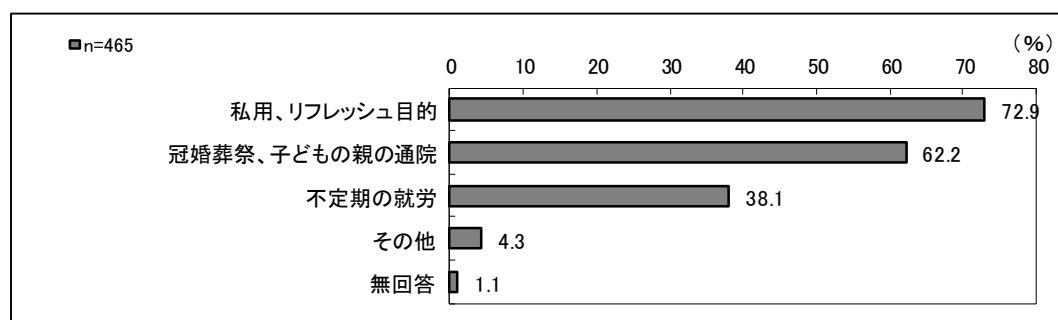
問 16-1 年間で、何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。

① 希望する利用目的【複数回答】



「私用、リフレッシュ目的」(72.9%)、「冠婚葬祭、子どもの親の通院」(62.2%)、「不定期の就労」(38.1%)、「その他」(4.3%)。

■希望する利用目的■



(5) 1年間で利用したい日数

① 1年間で利用したい日数



1年間で利用したい日数については、以下のとおりとなっている。

■日数（一覧）■

（単位：％）

	1～4日	5～9日	10～14日	15～29日	30日以上	無回答
1. 私用、リフレッシュ目的 (n=339)	15.3	17.4	39.5	7.1	12.1	8.6
2. 冠婚葬祭、学校行事、子どもや 親の通院等 (n=289)	28.4	28.7	25.3	6.2	4.8	6.6
3. 不定期の就労 (n=177)	8.5	15.3	26.0	11.3	24.9	14.1
4. その他 (n=20)	15.0	15.0	20.0	5.0	15.0	30.0

(6) 泊りがけで預けることができる事業の利用意向

問 17 宛名のお子さんについて、保護者の用事や都合（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで預けることができるサービス「短期入所生活援助事業（ショートステイ）：児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業」を利用したいと思いますか。



「利用する必要はない」（74.4％）、「利用したい」（18.6％）。

■泊りがけで預けることができる事業の利用意向■

(%)	利用したい	利用する必要はない	無回答	n
全体	18.6	74.4	7.0	855

(7) 希望する利用目的

※ 問 17 で「1. 利用したい」に○をつけた方

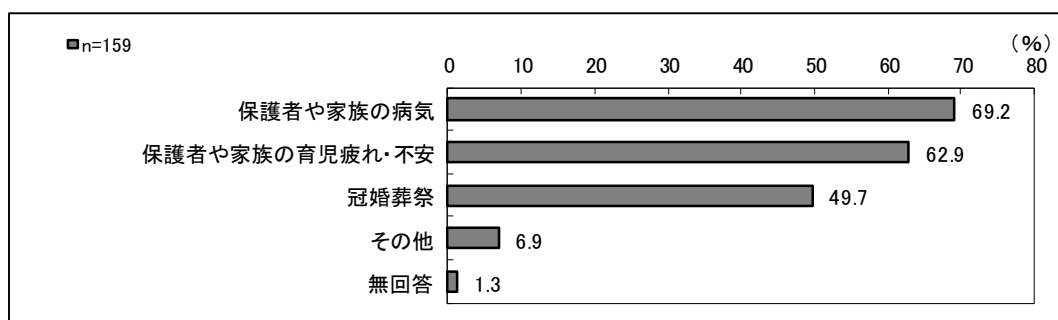
問 17-1 年間で、何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。

① 希望する利用目的【複数回答】



「保護者や家族の病気」(69.2%)、「保護者や家族の育児疲れ・不安」(62.9%)、「冠婚葬祭」(49.7%)、「その他」(6.9%)。

■希望する利用目的■



(8) 1年間で利用したい日数

① 1年間で利用したい日数



1年間で利用したい日数については、以下のとおりとなっている。

■日数（一覧）■

(単位：%)

	1～4日	5～9日	10～14日	15～29日	30日以上	無回答
1. 冠婚葬祭 (n=79)	73.4	19.0	3.8	0.0	1.3	2.5
2. 保護者や家族の育児疲れ・不安 (n=100)	32.0	19.0	28.0	9.0	9.0	3.0
3. 保護者や家族の病気 (n=110)	40.0	20.0	19.1	8.2	8.2	4.5
4. その他 (n=11)	27.3	9.1	18.2	18.2	9.1	18.2

10. 小学校就学後の放課後の過ごし方について

(1) 希望する小学校低学年の放課後の過ごし方

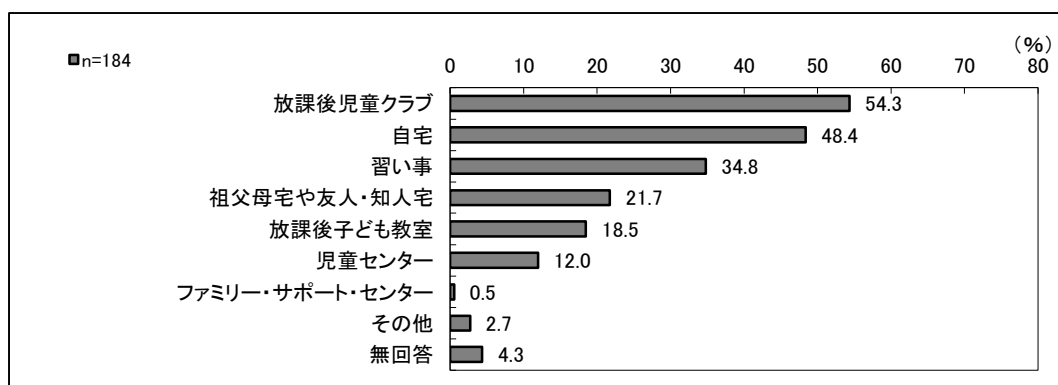
※ お子さんが5歳以上である方のみ

問 18 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。【複数回答】



「放課後児童クラブ」(54.3%)、「自宅」(48.4%)が高い割合を占める。
「習い事」(34.8%)、「祖父母宅や友人・知人宅」(21.7%)、「放課後子ども教室」(18.5%)、「児童センター」(12.0%)等がこれに続く。

■希望する小学校低学年の放課後の過ごし方■



(2) 希望する小学校低学年の放課後の過ごし方の日数

① 希望する小学校低学年の放課後の過ごし方の日数



希望する小学校低学年の放課後の過ごし方の日数については、以下のとおりとなっている。

■希望日数（一覧）■

(単位：%)

	週1日	週2日	週3日	週4日	週5日	無回答
1. 自宅 (n=89)	6.7	15.7	19.1	14.6	32.6	11.2
2. 祖父母宅や友人・知人宅 (n=40)	50.0	17.5	10.0	0.0	12.5	10.0
3. 習い事 (n=64)	42.2	37.5	14.1	1.6	0.0	4.7
4. 児童センター (n=22)	22.7	9.1	9.1	0.0	40.9	18.2
5. 放課後子ども教室 (n=34)	32.4	20.6	8.8	2.9	23.5	11.8
6. 放課後児童クラブ (n=100)	0.0	10.0	10.0	13.0	55.0	12.0
7. ファミリー・サポート・センター (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
8. その他 (n=5)	20.0	20.0	40.0	0.0	0.0	20.0

(3) 希望する小学校高学年の放課後の過ごし方

※ お子さんが5歳以上である方のみ

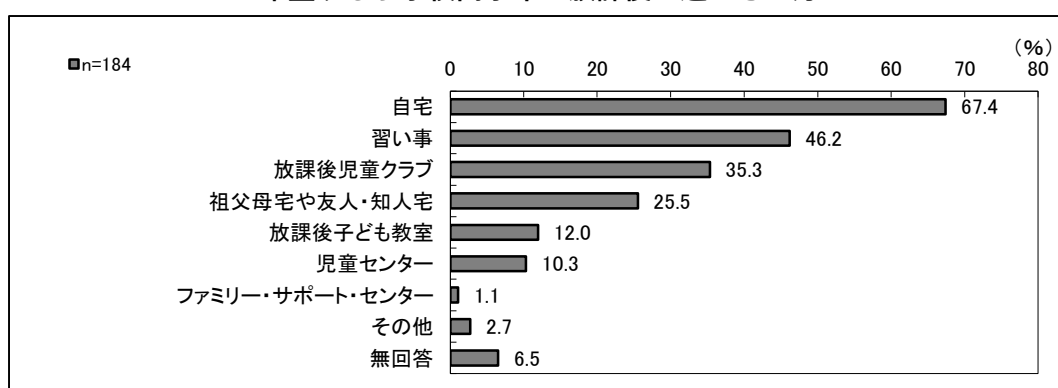
問 19 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。【複数回答】



「自宅」（67.4%）が最も高い割合を占める。

「習い事」（46.2%）、「放課後児童クラブ」（35.3%）、「祖父母宅や友人・知人宅」（25.5%）等がこれに続く。

■希望する小学校高学年の放課後の過ごし方■



(4) 希望する小学校高学年の放課後の過ごし方の日数

① 希望日数



希望する小学校高学年の放課後の過ごし方の日数については、以下のとおりとなっている。

■希望日数（一覧）■

（単位：％）

	週1日	週2日	週3日	週4日	週5日	無回答
1. 自宅 (n=124)	7.3	15.3	20.2	8.9	37.1	11.3
2. 祖父母宅や友人・知人宅 (n=47)	40.4	27.7	2.1	2.1	21.3	6.4
3. 習い事 (n=85)	28.2	40.0	25.9	3.5	0.0	2.4
4. 児童センター (n=19)	15.8	21.1	5.3	5.3	36.8	15.8
5. 放課後子ども教室 (n=22)	31.8	13.6	9.1	4.5	22.7	18.2
6. 放課後児童クラブ (n=65)	1.5	18.5	16.9	12.3	36.9	13.8
7. ファミリー・サポート・センター (n=2)	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0
8. その他 (n=5)	20.0	20.0	20.0	0.0	40.0	0.0

(5) 放課後児童クラブの利用を希望する理由

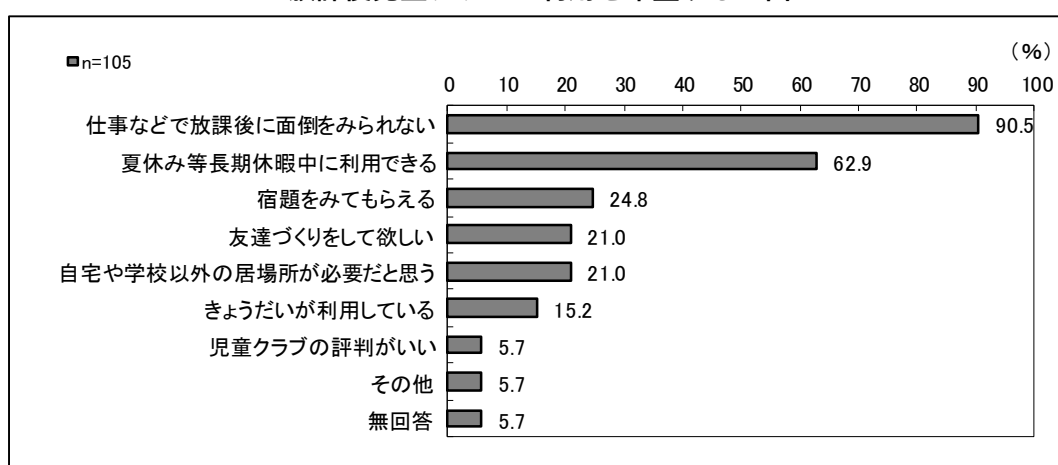
※ 問 18 または問 19 で「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方
問 20 放課後児童クラブ（学童保育）の利用を希望する理由は何ですか。【複数回答】



「仕事などで放課後に面倒をみられない」（90.5%）、「夏休み等長期休暇中に利用できる」（62.9%）が高い割合を占める。

「宿題をみてもらえる」（24.8%）、「友達づくりをして欲しい」（21.0%）、「自宅や学校以外の居場所が必要だと思う」（21.0%）、「きょうだいが利用している」（15.2%）等がこれに続く。

■放課後児童クラブの利用を希望する理由■



(6) 放課後児童クラブ ① 土曜日 (1) 利用意向

問 21 宛名のお子さんについて、土曜日・日曜日・祝日や長期の休暇期間中に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。

① 土曜日 (1) 利用意向



「低学年の間は利用したい」（17.1%）、「高学年になっても利用したい」（15.2%）、「**利用する必要はない**」（60.0%）。

■放課後児童クラブ ① 土曜日 (1) 利用意向■

	低学年の間は利用したい	高学年になっても利用したい	利用する必要はない	無回答	n
(%)					
全体	17.1	15.2	60.0	7.6	105

(7) 放課後児童クラブ ① 土曜日の希望開始時刻および希望終了時刻

※ 問 21① (1) で「1」または「2」に○をつけた方

① 土曜日 (2) 希望開始時刻

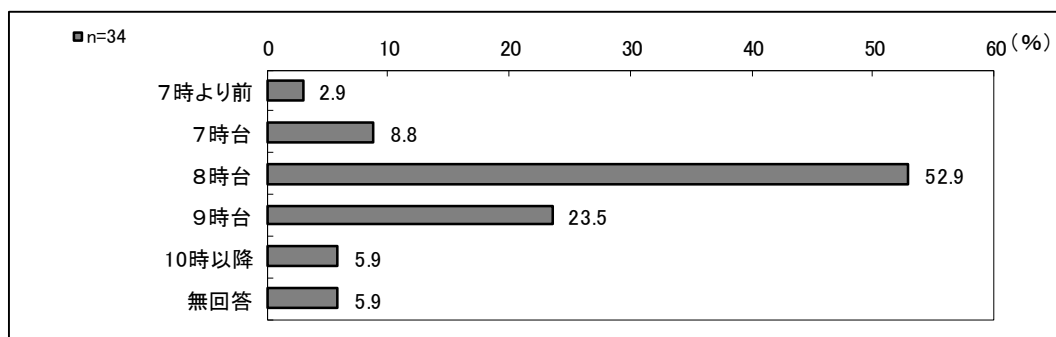
① 土曜日 (3) 希望終了時刻



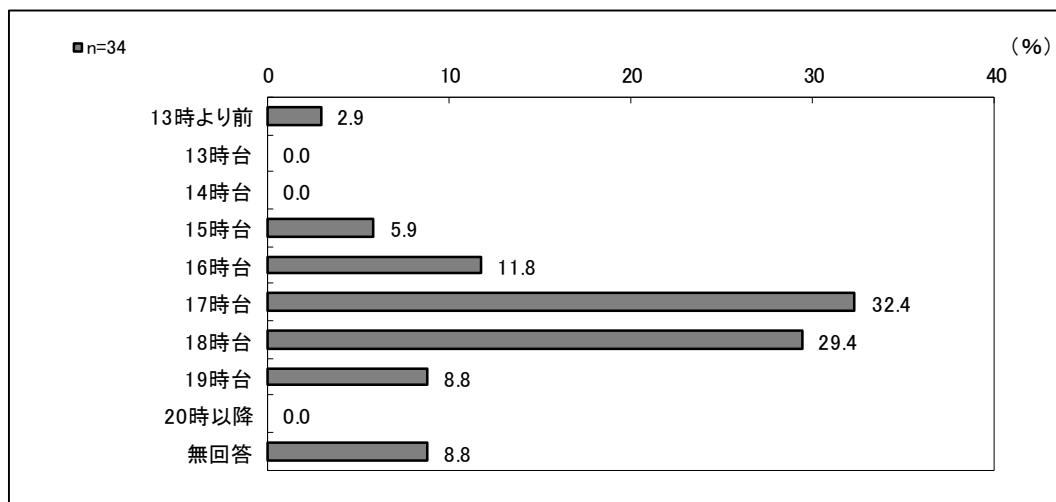
希望開始時刻については、「8 時台」(52.9%)、「9 時台」(23.5%)、「7 時台」(8.8%)、「10 時以降」(5.9%)、「7 時より前」(2.9%) となっている。

希望終了時刻については、「17 時台」(32.4%)、「18 時台」(29.4%)、「16 時台」(11.8%)、「19 時台」(8.8%)、「15 時台」(5.9%)、「13 時より前」(2.9%) となっている。

■ 希望開始時刻 ■



■ 希望終了時刻 ■



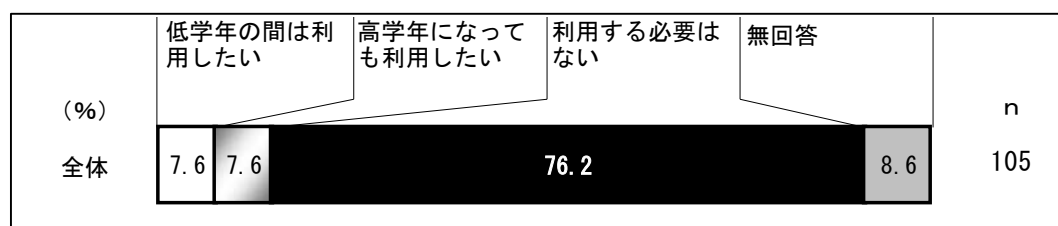
(8) 放課後児童クラブ ② 日曜日・祝日 (1) 利用意向

問 21 宛名のお子さんについて、土曜日・日曜日・祝日や長期の休暇期間中に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。

② 日曜日・祝日 (1) 利用意向

「低学年の間は利用したい」(7.6%)、「高学年になっても利用したい」(7.6%)、「**利用する必要はない**」(76.2%)。

■放課後児童クラブ ② 日曜日・祝日 (1) 利用意向■



(9) 放課後児童クラブ ② 日曜日・祝日の希望開始時刻および希望終了時刻

※ 問 21②(1) で「1」または「2」に○をつけた方

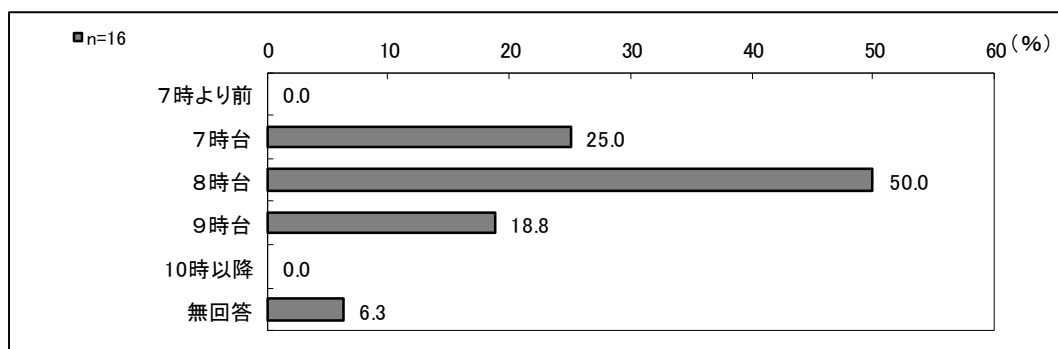
② 日曜日・祝日 (2) 希望開始時刻

② 日曜日・祝日 (3) 希望終了時刻

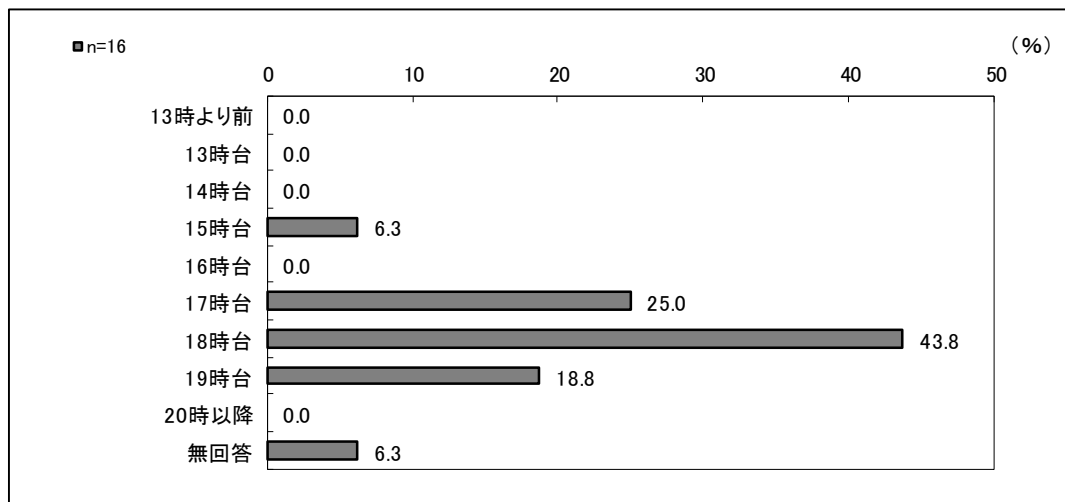
希望開始時刻については、「8 時台」(50.0%)、「7 時台」(25.0%)、「9 時台」(18.8%) となっている。

希望終了時刻については、「18 時台」(43.8%)、「17 時台」(25.0%)、「19 時台」(18.8%)、「15 時台」(6.3%) となっている。

■希望開始時刻■



■希望終了時刻■



(10) 放課後児童クラブ 長期休暇期間中 (1) 利用意向

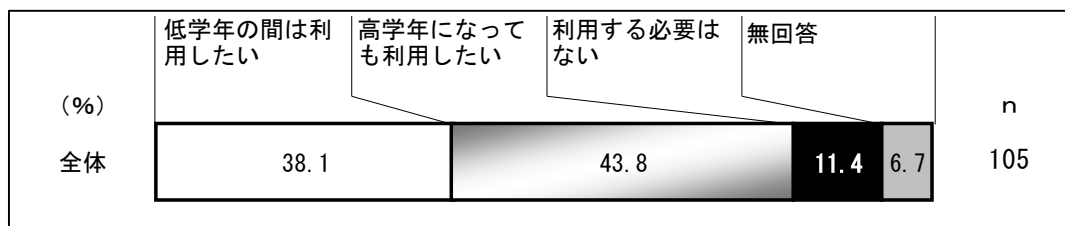
問 21 宛名のお子さんについて、土曜日・日曜日・祝日や長期の休暇期間中に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。

③ 長期休暇期間中 (1) 利用意向



「高学年になっても利用したい」(43.8%)、「低学年の間は利用したい」(38.1%)、「利用する必要はない」(11.4%)。

■放課後児童クラブ 長期休暇期間中 (1) 利用意向■



(11) 放課後児童クラブ ③ 長期休暇期間中の希望開始時刻および希望終了時刻

※ 問 21③ (1) で「1」または「2」に○をつけた方

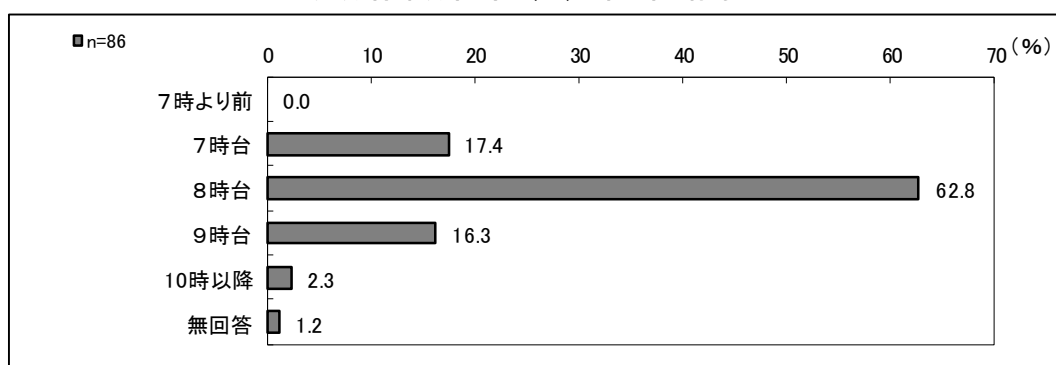
- ③ 長期休暇期間中 (2) 希望開始時刻
- ③ 長期休暇期間中 (3) 希望終了時刻



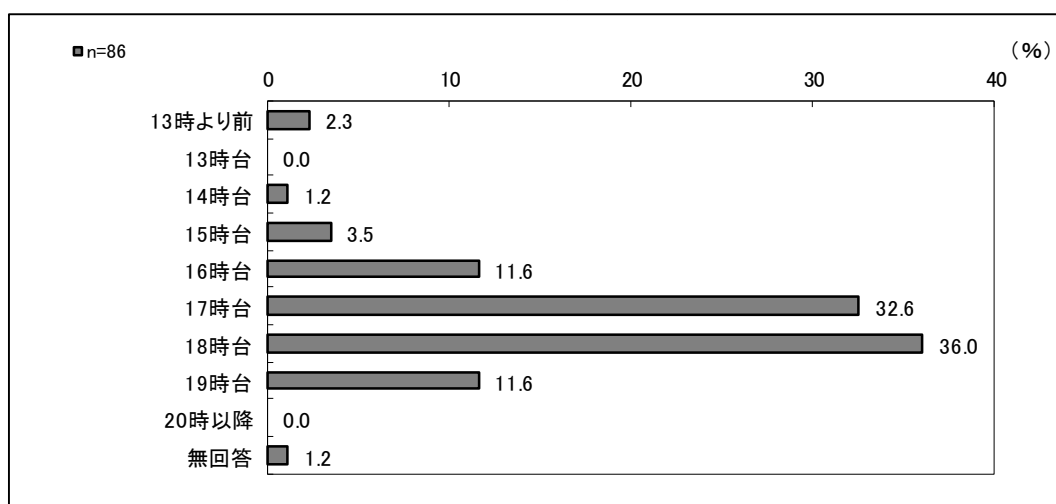
希望開始時刻については、「8 時台」(62.8%)、「7 時台」(17.4%)、「9 時台」(16.3%)、「10 時以降」(2.3%) となっている。

希望終了時刻については、「18 時台」(36.0%)、「17 時台」(32.6%)、「16 時台」(11.6%)、「19 時台」(11.6%)、「15 時台」(3.5%)、「13 時より前」(2.3%)、「14 時台」(1.2%) となっている。

■長期休暇期間中 (2) 希望開始時刻■



■長期休暇期間中 (3) 希望終了時刻■

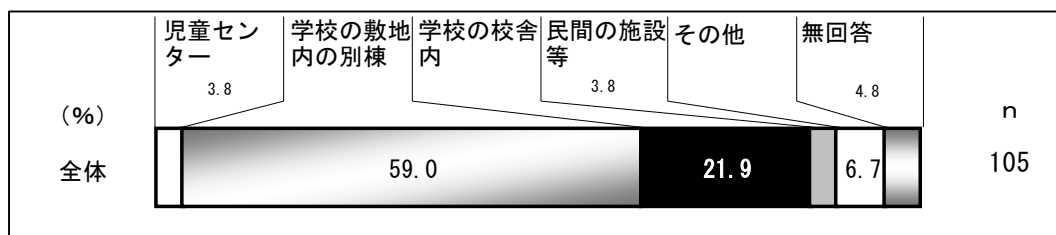


(12) 放課後児童クラブ設置場所として望ましいところ

問 22 放課後児童クラブ（学童保育）を設置する場所として望ましいのはどこですか。

「学校の敷地内の別棟」(59.0%)、「学校の校舎内」(21.9%)、「児童センター」(3.8%)、「民間の施設等」(3.8%)、「その他」(6.7%)。

■放課後児童クラブ設置場所として望ましいところ■



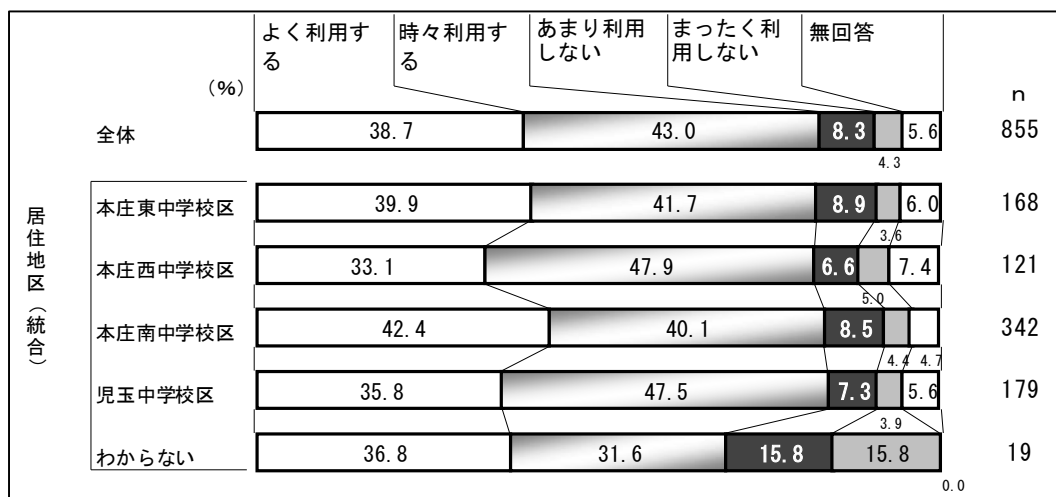
11. 公園の過ごし方について

(1) 公園の利用状況

問 23 お子さんは本庄市内の公園を利用しますか。

「時々利用する」(43.0%)、「よく利用する」(38.7%)、「あまり利用しない」(8.3%)、「まったく利用しない」(4.3%)。

■公園の利用状況■



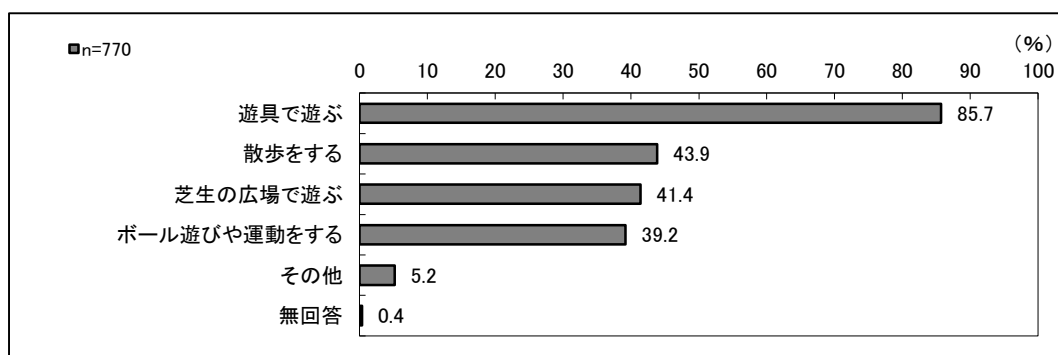
(2) 公園における好きな遊びの種類

※ 問 23 で、「1. よく利用する」、「2. 時々利用する」、「3. あまり利用しない」のいずれかに○をつけた方

問 23-1 お子さんは公園でどのような遊びをするのが好きですか。【複数回答】

「遊具で遊ぶ」(85.7%)、「散歩をする」(43.9%)、「芝生の広場で遊ぶ」(41.4%)、「ボール遊びや運動をする」(39.2%)、「その他」(5.2%)。

■公園における好きな遊びの種類■



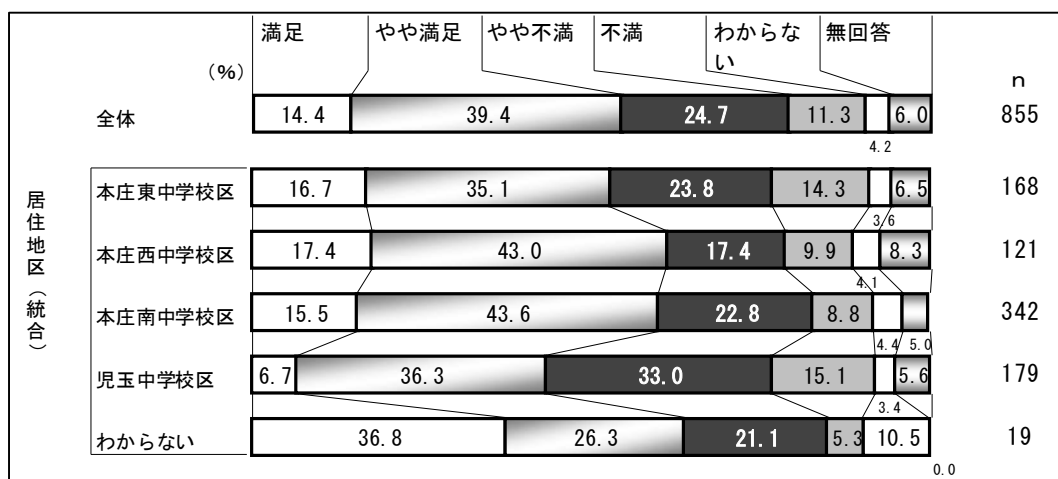
(3) 本庄市内の公園に対する満足度

問 24 あなたは、本庄市内の公園に満足していますか。

全体の回答としては、「やや満足」(39.4%)、「やや不満」(24.7%)、「満足」(14.4%)、「不満」(11.3%)、「わからない」(4.2%)となっている。

児玉中学校区で「満足」と「やや満足」を足し合わせた“満足”が他の中学校区と比べてやや低い (43.0%)。

■本庄市内の公園に対する満足度■



(4) 不満の理由

※ 問 24 で、「3. やや不満」または「4. 不満」に○をつけた方

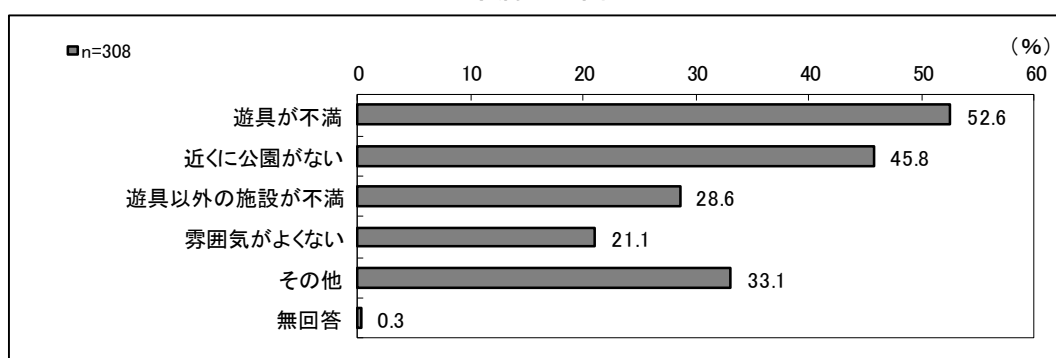
問 24-1 不満の理由は何ですか。【複数回答】



「遊具が不満」(52.6%)、「近くに公園がない」(45.8%)、「遊具以外の施設が不満」(28.6%)、「雰囲気がよくない」(21.1%)、「その他」(33.1%)。

児玉中学校区での不満の理由は「近くに公園がない」が最も高く、62.8%となっている。

■不満の理由■



■クロス集計表■

		合計	問24-1 不満の理由					無回答	非該当
			遊具が不満	遊具以外の施設が不満	雰囲気がよくない	近くに公園がない	その他		
全体		308 100.0%	162 52.6%	88 28.6%	65 21.1%	141 45.8%	102 33.1%	1 0.3%	547
居住地区（統合）	本庄東中学校区	64 100.0%	38 59.4%	24 37.5%	19 29.7%	24 37.5%	23 35.9%	0 0.0%	104
	本庄西中学校区	33 100.0%	17 51.5%	10 30.3%	10 30.3%	11 33.3%	11 33.3%	1 3.0%	88
	本庄南中学校区	108 100.0%	59 54.6%	31 28.7%	25 23.1%	44 40.7%	37 34.3%	0 0.0%	234
	児玉中学校区	86 100.0%	41 47.7%	19 22.1%	8 9.3%	54 62.8%	24 27.9%	0 0.0%	93
	わからない	5 100.0%	2 40.0%	2 40.0%	0 0.0%	1 20.0%	2 40.0%	0 0.0%	14

12. 子ども・子育て支援全般について

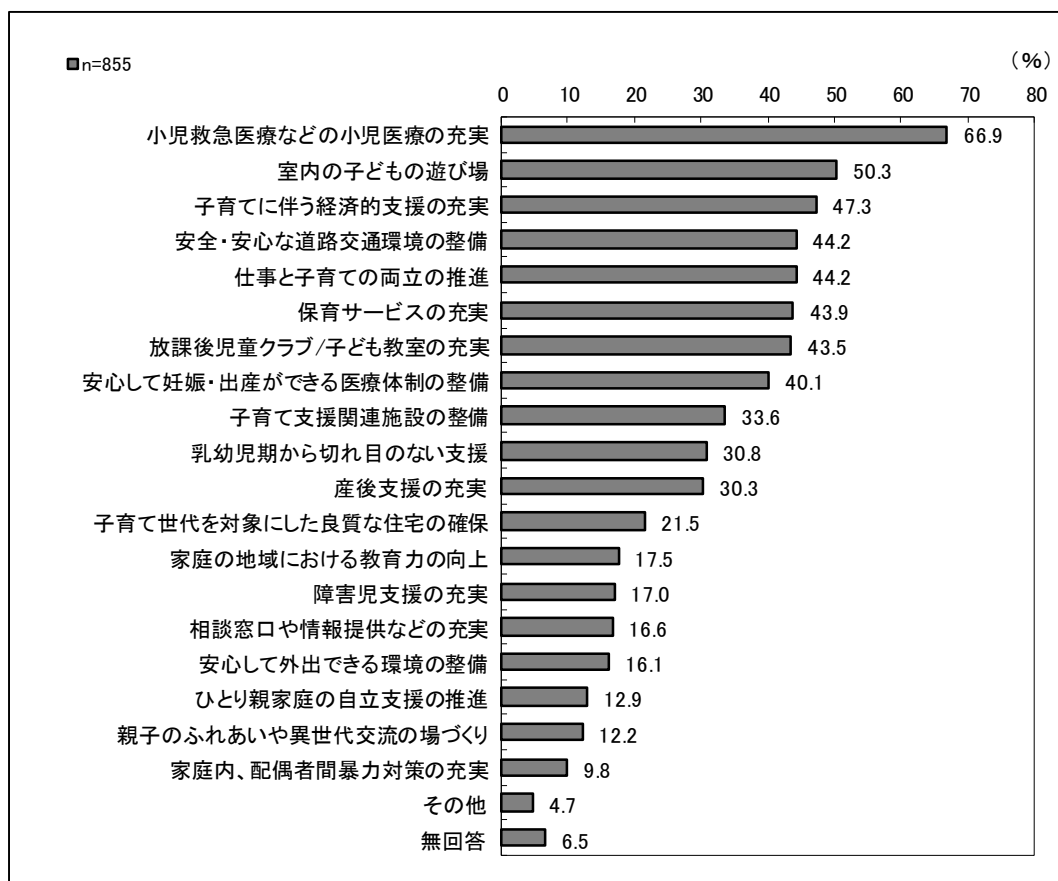
(1) 市が重点的に取り組むべき子育て支援施策

問 25 子育て支援の環境づくりに対する施策について、市が重点的に取り組む必要性が高いと思われるものは何だと思いますか。【複数回答】

「小児救急医療などの小児医療の充実」(66.9%) が最も高い割合を占める。

「室内の子どもの遊び場」(50.3%)、「子育てに伴う経済的支援の充実」(47.3%)、「安全・安心な道路交通環境の整備」(44.2%)、「仕事と子育ての両立の推進」(44.2%)、「保育サービスの充実」(43.9%)、「放課後児童クラブ/子ども教室の充実」(43.5%)、「安心して妊娠・出産ができる医療体制の整備」(40.1%) 等がこれに続く。

■市が重点的に取り組むべき子育て支援施策■



(2) 地域における子育て環境や支援への満足度

問 26 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度をお答えください。

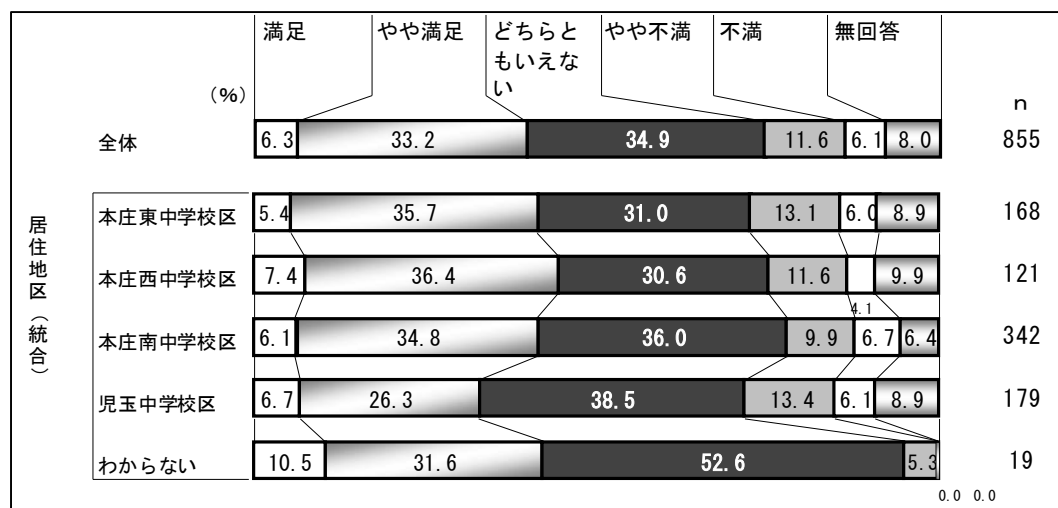


「どちらともいえない」(34.9%)、「やや満足」(33.2%)、「やや不満」(11.6%)、「満足」(6.3%)、「不満」(6.1%)。

全体として、「満足」と「やや満足」を足し合わせた“満足”は 39.5%、「不満」と「やや不満」を足し合わせた“不満”は 17.7%で“満足”が“不満”を 21.8 ポイント上回る。

“満足”の割合が最も高かったのは本庄西中学校区で 43.8%、一方最も低かったのは児玉中学校区で 33.0%となった。

■地域における子育て環境や支援への満足度■



(3) 自由意見

問 27 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、自由にご記入ください。



以下のような意見が寄せられた。(一部抜粋、原文のまま)

- 市内の小児科があまりにも少なすぎる。
子どもが増えてきている中、小児科メインで診ているクリニックが1つだと、いつも待ち時間が長く、子どもが体調不良で行っているのに、待っている時間でもっと体調が悪くなる。もう少し小児科メインのクリニックを増やして欲しい。
また病児保育を利用したいと思っても、事前に予約が必要だと言われ、こどもの突然の風邪など予約できるものではない。私のように周りに助けてもらえるような親戚がいないと、頼るところがなく、どうしても休めない仕事でも休まなければならない。子ども病気なんて突然のことなのに、予約が必要となると病児保育の意味がないと思う。ここはもう少し考えてほしい。
- 子供は、皆平等です。収入で金額が変わるのではなく保育料を無償化にしてください。隣の深谷市も2人目から無料になりました。保育料も高く、同じ保育を受けるのになぜ、金額が異なるのでしょうか。もう一人産もうとは思わなくなりました。
公園も、こんなに暑い地域なのに中でのびのび遊ぶ場所もなく水を、使って遊べる場所は一つ。年代問わずよりよい本庄市になることを願います。
- 今は、幼稚園で、多子世帯保育料・副食費権限事業を受けているので、とても助かっています。4月からは小学生になる為…兄弟全員分の給食費が…と思うと、物価高騰しているのに、給料は、上がりず…とても不安。小学生になっても、多子世帯補助があると助かると思います
- 年少扶養控除が廃止されるなど、近年子育て世帯の税負担が多くなってきております。現在市で行っていただいている給食費無償化が大変ありがたいです。今後も子育て世帯の経済的な負担を軽減する施策が続いていくと、子育て世帯の転入増加、転出減少に繋がっていくかと思いますので、ぜひ続けていただきたいです。よろしくお願いいたします。
- 子供が欲しくても産めない環境で子育て家庭に対する支援を充実させてほしいです。
他の町では毎月のおむつかミルクの交換できるクーポンの支給やチャイルドシート代の補助、ランドセルの支給などあります。本庄市はそのような支援がないので検討して下さい。
- ひとり親の為に子供が小学生になってからの預かり先の選択肢が少なく、働き方を考えなければならない為、親子が安心して勤務できるような預かり先の充実をはかっていただきたい。
- 学童に通っている子がいますが、5年生で退所になってしまうので小学生の内は安全のため利用できる環境を作ってほしい。
- 今の時代苦しいのはひとり親家庭だけではありません。全ての子どもに平等な支援を求めます。
- 隣の深谷市が子育て支援に力を入れているようで、職場でよく話を聞きます。0歳児から

2 歳児までの子どもを対象に保育料の無償化や、インフルエンザ対策としてですが高齢者だけでなく未就学児にも予防接種の補助を出すなど、深谷市の子育て支援を聞いて大変うらやましく思いました。金銭面での補助が一番の子育て支援ではないでしょうか。

両親ともに本庄出身ではないですが、自然が多く、温かい人々に囲まれて子育てができていることには感謝しておりますが、本庄市ならではの、他の行政と差がつくような子育て支援策を何か作ってくださればと考えております。

- 図書館を子育て世帯が集まれる場所にしてほしいです。例えば、お話し会の回数を増やすとか図書館からの催し等の情報配信を本庄市公式 LINE で流すなど。

- 連続で育休に入ってしまったため、上の子の認定こども園を検討していたところ数や定員が少なく、幼稚園を検討している。復帰後、転園か仕事をセーブしなければいけなくなってしまうため、認定こども園の充実または定員の拡充をお願いしたい。

よくママ友とカフェ付きの公園がほしいね〜と話しています。公園となると大きな公園がある伊勢崎市まで行かことが多いので、せっかく子育て世帯が多い本庄市なのでもう少し公園や室内遊び場を充実していただけると有り難いです。あと、小児科・産婦人科もないので深谷まで行ってます、いつもありがとうございます！少しでも声が届くとありがたいです。

- 産後のリアルな育児の大変さを学ぶ場が少ないと思うので、その辺の心構えというか、ママのボロボロさ（産後は交通事故全治1ヶ月レベル）を認識して、パパや周りがすべき事など、前もって知っておく事で準備ができるといいのかなと思います。子どもが生まれると母親はどうしても自分が強くなって子どもを守ろうとするので、周りに頼りにくくなったり、「助けて」って言い辛い心境に自然となってしまうと思います。そして「大丈夫そう」に見えたら、意外と元気そうだね、なんて勘違いするパパも多いかもしれません。高級な産後ホテルではなく、もっと気軽に誰もが利用できる産後ケアや、手続きが面倒でない一時預かりシステムなど、人見知りや消極的なママでも助けを求めやすいような場を増やして、1人で抱え込んでしまうママが減ったら良いと思います。

- 一時預かりをお願いしようとすると、どうしても用事がないといけなような雰囲気になる。リフレッシュ目的とは言えない感じがしてすごくやりづらい。

#8000 を利用したことがあるが、長時間繋がらず結局諦めて熊谷の総合病院に夜間に行った。

病院に関しても、熊谷までいかなくてはならず、電話をしたらどうしてこっちまでくるのかと言われた。連携も取れていないのかと思うと不安になる。保健センターの職員さんは、とても丁寧ですごく助かるが、病院、子育て支援センターの一時預かりをもう少し頑張っ

- 引っ越してくる前の地域や、近隣の市が子育て環境や通学路整備が整っていたので。比較して見てきましたが、5年経っても前向きに改善されそうにない。広報やホームページの質疑応答を閲覧しても、(平成の頃から)自分と同じような不満は上がっているのに、先送りにする答弁ばかり。資金の関係で優先順位がつくのは仕方ないが、ならば移住のために『子育て推進』を掲げるべきでない。人命の為に、通学路の環境改善は早急に取り組むべき。観光優先の道路づくりと、下水道の為に工事ばかりしている印象。住所は置いている

ものの、あまりに何も無いので娯楽はもちろん日用品の買い物も市外でお金を使っている現状。子育て環境が整う前に、近隣の市に移る案も検討中。優秀な成績を評価されてる高校、高校生の通学、校外学習環境だけでも市がもっとできることあるのでは。高校の学力レベルが下がったら、本当に子育てするメリット無い市である。

- 給付金よりも、保育士や保健師さんに簡単に一時的に預かってもらうサービスがほしい。実家に数時間子どもを預けるような感覚で買い物の間だけ見てもらうサービスがほしい。無料や手続きが簡単などの利点があると尚嬉しい。
- 他の市町村のように子供に優しいまちづくりをして欲しい。公園や遊びの場の充実であったり、支援についても金銭面もそうだが、現在は産んだ場所でのみの宿泊サポートしかないが、どこでも誰でも利用出来る母子の休める施設を作って欲しい。
- フルタイムで働いており、小学校の子に平日学校以外での教養や運動もさせたいと思っていますが、ファミリーサポートを利用し送迎してもらった場合月謝にプラスして送迎代金がかかってしまいます。利用しない場合は学童に 18 時に迎えに行ってから送迎する必要があり、夕飯や宿題もあり非常に慌しくなります。無料で送迎する事業者などに補助金を出す、市で送迎事業を行うなどで働きやすい環境を整備していただけるとありがたいです。
- 育休中だと子を学童保育に預けられないのは困ります。預けられるようにしてください。
- 子供の医療が逼迫しすぎている。小児科 1 時間以上待ちは当たり前。3 歳から小児科ではなく内科に行っているが、それでも 1 時間待ちは当たり前です。医療の面では本当に子育てしづらい。

学童が少なすぎる。藤田小学校みたいに、小学校に学童が併設されるべきだ。児童館の学童は論外です。放任しすぎ。

- 幼稚園や学校の先生が安心して働ける仕組みを構築してほしい。先生方のやる気によって、成り立つ今の現状はおかしい。民間の企業と同様に改善していかないと手が確保できない。
- 一時保育の枠が少なく、預ける必要がある日に預けられないため、枠を増やして欲しい(保育士の確保をしてほしい)。
- 教員の働き方改革は進むべきであると思うが、登校時間が遅くなる方針は、共働きや一人親世帯には厳しいのが現実である。朝の時間帯だけでもカバーできるようなボランティアの配置など、登校時間の変更が無いような働き方改革を進めてほしい。始業時間は決まっているため、子どもに施錠を任せなくてはならなくなると、防犯上あまり良くないと思う。
- 一時保育について

私用、冠婚葬祭で使う際の本庄市のホームページ上に各保育施設の申し込み可能月齢や、私用で使う際月何回まで使えるかなどの詳細を載せて欲しい。各施設に電話で聞いてみたが、月齢と月何日使用可能か等曖昧に回答され特に私用の場合はあまり預けてほしくないようなニュアンスで回答された。預かる気がないならそもそも本庄市のホームページ上に記載しなければいいと思う。先生の人数が足りてなく大変なのかもしれないが、こちらは記載があり利用したいと思い電話をしている。預けられる施設が数十あるわけではないので、各施設の詳細を本庄市が確認してホームページ上に載せてほしい。